



MUSIC SYNTHESIZER

**MONTAGE m6**

**MONTAGE m7**

**MONTAGE m8x**

---

クイックガイド

## 安全上のご注意

ご使用前に、必ずこの「安全上のご注意」をよくお読みください。

ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくご使用いただき、お客様やほかの方々への危害や財産への損害を未然に防止するためのものです。必ずお守りください。お読みになったあとは、使用される方がいつでも見られる所に必ず保管してください。



### 記号表示について

この製品やクイックガイドに表示されている記号には、次のような意味があります。

	注意喚起を示す記号
	禁止を示す記号
	行為を指示する記号

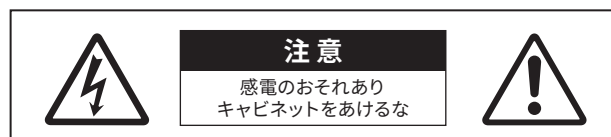
### 「警告」「注意」「ご注意」について

誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容、危害や損害の大きさと切迫の程度を区分して掲載しています。

 <b>警告</b>	「死亡する可能性または重傷を負う可能性が想定される」内容です。
 <b>注意</b>	「傷害を負う可能性が想定される」内容です。
<b>ご注意</b>	「故障、損傷や誤動作、データの損失の発生が想定される」内容です。

### 本体に表示されている注意マークについて

本体には、次の注意マークが付いています。



これは、以下の内容の注意を喚起するものです。「感電防止のため、パネルやキャビネットを外さないでください。内部には、お客様が修理/交換できる部品はありません。点検や修理は、必ずお買い上げの販売店または巻末のヤマハ修理ご相談センターにご依頼ください。」

## 警告

### 電源



禁止

電源コードをストーブなどの熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、傷つけたりしない。また、電源コードに重いものをのせない。

電源コードが破損し、感電や火災の原因になります。



禁止

雷が鳴っているときは、本製品や電源プラグに触らない。

感電の原因になります。



必ず実行

電源は必ず交流 100V で使用する。

エアコンの電源など交流 200V のものがあります。誤って接続すると、火災、感電、または故障の原因になります。



必ず実行

電源コード/プラグは、必ず付属のものを使用する。また、付属の電源コード/プラグをほかの製品に使用しない。

火災、やけど、または故障の原因になります。



必ず実行

電源プラグを定期的に確認し、ほこりが付着している場合はきれいに拭き取る。

ショートして火災や感電の原因になります。



必ず実行

電源プラグは、コンセントの奥まで確実に差し込む。

差し込みが不十分のまま使用すると感電したり、プラグにほこりが堆積したりして火災ややけどの原因になります。



必ず実行

電源プラグは、見える位置で、手が届く範囲のコンセントに接続する。

万一の場合、電源プラグを容易に引き抜くためです。電源を切った状態でも電源プラグをコンセントから抜かないかぎり電源から完全に遮断されません。



禁止

たこ足配線をしない。

音質が劣化したり、コンセント部が異常発熱して火災の原因になります。



必ず実行

電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに、必ず電源プラグを持って引き抜く。電源コードが破損して、感電や火災の原因になることがあります。



電源プラグを抜く

長期間使用しないときは、必ずコンセントから電源プラグを抜く。

火災や故障の原因になります。



アース線を接続せよ

アース接続を確実に行う。

感電のおそれがあります。アース接続は必ず、主電源プラグを主電源につなぐ前に行ってください。また、アース接続を外す場合は、必ず主電源プラグから切り離して行ってください。アース接続については30ページをご参照ください。

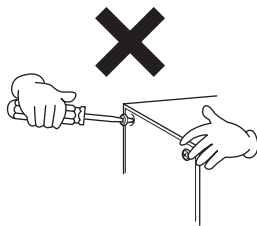
## 分解禁止



禁止

本製品を分解したり改造したりしない。

感電や火災、けが、または故障の原因になります。本製品の内部には、お客様が修理や交換できる部品はありません。



## 水に注意



禁止

•浴室や雨天時の屋外など湿気の多いところや水がかかるところで使用しない。

•本製品の上に花瓶や薬品など液体の入ったものを置かない。

内部に水などの液体が入ると、火災や感電、または故障の原因になります。



禁止

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない。

感電のおそれがあります。

## 火に注意



禁止

本製品の近くで、火気を使用しない。火災の原因になります。

## 異常に気づいたら



必ず実行

下記のような異常が発生した場合、すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く。

- 電源コード/プラグが破損した場合
- 製品から異常なおいや煙が出た場合
- 製品の内部に水や異物が入った場合
- 使用中に音が出なくなった場合
- 製品に亀裂、破損がある場合

そのまま使用を続けると、感電や火災、または故障のおそれがあります。至急、お買い上げの販売店または巻末のヤマハ修理ご相談センターに点検や修理をご依頼ください。

## 注意

### 設置



禁止

**不安定な場所や振動の多い場所に置かない。**

本製品が転倒して故障したり、けがをしたりする原因になります。



必ず実行

**地震のときは、本製品から離れる。**

地震による強い揺れで動いたり転倒したりして、けがをするおそれがあります。



必ず実行

**本製品を持ち上げて運ぶ場合は、必ず2人以上で行う。**

本製品を1人で無理に持ち上げると、腰を痛めるおそれがあります。また、本製品が落下してけがや破損の原因になります。



必ず実行

**本製品を移動するときは、必ずすべての接続ケーブルを外した上で行う。**

ケーブルをいためたり、お客様やほかの方々が転倒したりするおそれがあります。

### 接続



必ず実行

**ほかの機器と接続する場合は、すべての電源を切った上で行う。また、電源を入れたり切ったりする前に、必ずすべての機器の音量（ボリューム）を最小にする。**

聴覚障害、感電または機器の損傷の原因になります。



必ず実行

**演奏を始める前に機器のボリュームを最小にし、演奏しながら徐々にボリュームを上げて、適切な音量にする。**

聴覚障害または機器の損傷の原因になります。

### 取り扱い



禁止

**本製品のパネル、鍵盤のすき間から金属や紙片などの異物を入れない。**

火災、感電、故障や動作不良の原因になります。



禁止

**本体の上ののったり重いものをのせたりしない。また、ボタンやスイッチ、入出力端子などに無理な力を加えない。**

本体が破損したり、お客様やほかの方々がけがをしたりする原因になります。



禁止

**大きな音量で長時間使用しない。**

聴覚障害の原因になります。特にヘッドホンを使用する場合はご注意ください。万一、聴力低下や耳障りを感じた場合は、専門の医師にご相談ください。



必ず実行

**本製品をお手入れをするときは、必ずコンセントから電源プラグを抜く。**

感電の原因になります。

- データが破損したり失われたりした場合の補償はいたしかねますので、ご了承ください。
- 不適切な使用や改造により故障した場合の保証はいたしかねます。

使用後は、必ず電源を切りましょう。

高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 適合品

(DMI-11)

## ご注意

「故障、損傷や誤動作、データの損失の発生が想定される」内容です。以下の内容をよく読んでお使いください。

### ■ 製品の取り扱いに関する注意

- テレビやラジオ、ステレオ、携帯電話など他の電気製品の近くで使用しないでください。楽器本体またはテレビやラジオなどに雑音が生じる場合があります。
- スマートフォン、タブレット端末などのスマートデバイスのアプリと一緒に使用する場合は、通信によるノイズを避けるためスマートデバイスの機内モードをオンにしてお使いいただくことをおすすめします。
- 直射日光のあたる場所（日中の車内など）やストーブの近くなど極端に温度が高くなる場所、逆に温度が極端に低い場所、また、ほこりや振動の多い場所で使用しないでください。本体が変形したり、内部の部品が故障したり、動作が不安定になったりする原因になります。
- 本体上にビニール製品やプラスチック製品、ゴム製品などを置かないでください。本体が変色/変質する原因になります。

### ■ 製品のお手入れに関する注意

- お手入れの際は、乾いた柔らかい布、または水を含ませた柔らかい布を固くしぼってご使用ください。ベンジンやシンナー、アルコール、洗剤、化学ぞうきんなどを使用すると、変色/変質する原因になりますので、使用しないでください。

### ■ データの保存に関する注意

- 編集したパフォーマンス  
編集したパフォーマンスは、保存前に電源を切ると消えてしまいます。オートパワーオフ機能（31ページ）により電源が切れた場合も同様です。
- その他の設定  
その他の設定は本機内に自動的に保存され、電源を切っても消えません。
- 大切なデータを守るために  
本機内に保存（ストア）されたパフォーマンスやその他の設定は、故障や誤操作などのために失われることがあります。大切なパフォーマンスやその他の設定は、USBフラッシュメモリーやコンピューターなどの外部機器に保存してください（オペレーションマニュアル参照）。データを保存したUSBフラッシュメモリーの万一の事故に備えて、大切なデータは予備のUSBフラッシュメモリーやコンピューターなどの外部機器にバックアップとして保存されることをおすすめします。USBフラッシュメモリーを使う前には、必ず32ページをお読みください。

## お知らせ

### ■ データの著作権に関するお願い

- この製品に搭載されている「コンテンツ」<sup>\*1</sup>の著作権は、ヤマハ（株）もしくはその著作権者に帰属します。私的使用のための複製など著作権法上認められている場合を除いて、権利者に無断で「複製または転用」<sup>\*2</sup>することは禁じられています。ご使用時には、著作権の専門家にご相談されるなどのご配慮をお願いします。なお、製品本来の使用を通して、上記コンテンツを使用した音楽制作や演奏を行い、それらを録音して配布する場合、配布方法が有償、無償を問わずヤマハ（株）の許諾は必要ありません。

\*1：「コンテンツ」には、コンピュータープログラム、サウンドデータ、伴奏スタイルデータ、MIDIデータ、WAVEデータ、音声記録データ、楽譜や楽譜データなどを含みます。

\*2：「複製または転用」には、この製品に内蔵または同梱されたコンテンツそのものを取り出すこと、もしくは酷似した形態で記録/録音して配布することを含みます。

### ■ クイックガイドの記載内容に関するお知らせ

- このクイックガイドに掲載されているイラストや画面は、すべて説明のためのものです。
- このクイックガイドに掲載されているイラストや画面は、特に説明のない限り、MONTAGE M6を使用しています。
- MIDIは社団法人音楽電子事業協会（AMEI）の登録商標です。
- その他、本書に記載されている会社名および商品名等は、各社の登録商標または商標です。

### ■ 廃棄に関するお知らせ

本製品を廃棄するときは、地方自治体の条例に従って処理してください。詳しくは、各地方自治体にお問い合わせください。

# はじめに

このたびは、ヤマハ製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

この製品は、複数の音源システムを搭載し、従来からあるサウンドだけでなく、全く新しいサウンドを創出できるフラグシップシンセサイザーです。本書をよくお読みになって、この楽器に搭載された機能を十分にご活用ください。また、お読みになったあとも、いつでもご覧になれるところに大切に保管してください。

## 説明書について

この楽器には、以下の説明書が用意されています。

### 製品に同梱

---

#### ■ クイックガイド (本書)

本機の基本機能について説明しています。

### ウェブサイトで提供

---

ウェブから提供している説明書は、ヤマハ ダウンロードのウェブサイトからご覧いただけます。インターネットに接続して以下のウェブサイトを開き、「モデル名から検索」テキストボックスにモデル名「MONTAGE M」と入力して「検索」をクリックします。



ヤマハ ダウンロード

<https://download.yamaha.com/jp/>

#### ■ オペレーションマニュアル (HTML)

本機の詳しい操作方法や、内部構造、他の機器との接続方法例について、詳細に説明しています。

[https://manual.yamaha.com/mi/synth/montage\\_m/index\\_q.html](https://manual.yamaha.com/mi/synth/montage_m/index_q.html)



#### ■ データリスト (.xlsx、.pdf)

パフォーマンス、ウェーブフォーム、エフェクトタイプ、アルペジオタイプなどの本機内蔵コンテンツのリストや、MIDIインプリメンテーションチャートなどの資料を掲載しています。

## 付属品について

- 電源コード (×1)
- 2P-3P変換器 (×1) (電源コードに取り付けられた状態で出荷されます。)
- クイックガイド (本書)
- Cubase AI Download Information (CUBASE AIダウンロードについて)
- Expanded Softsynth Plugin for MONTAGE M Download Information
- 保証書

## ファームウェアの更新について

機能の追加や操作性向上のために、工場出荷時のファームウェアを予告なくアップデートすることがあります。本機のファームウェアに対応するマニュアルは以下のウェブサイトよりダウンロードいただけます。

サポート・お問い合わせ：<https://jp.yamaha.com/support/>

なお、本機のファームウェアバージョンは [UTILITY] → Settings → System でご確認ください。

## 本書内の表記

### モデル名

本書では、MONTAGE M6、MONTAGE M7、MONTAGE M8xをまとめて「MONTAGE M」と表記します。

### NOTE

補足説明にはNOTEと表記しています。



# 目次

安全上のご注意 .....	2
ご注意 .....	5
お知らせ .....	5
はじめに .....	6
説明書について .....	6
製品に同梱 .....	6
ウェブサイト提供 .....	6
付属品について .....	6
ファームウェアの更新について .....	7
本書内の表記 .....	7
特長 .....	9
Motion Control Synthesis Engineとは .....	9
パフォーマンスのしくみ .....	10
ライブセットのしくみ .....	11
ライブセットのバンク .....	11
各部の名称と機能 .....	12
トップパネル .....	12
リアパネル .....	26
ご使用前の準備 .....	30
電源の準備 .....	30
スピーカーやヘッドホンの準備 .....	30
電源を入れる 電源を切る .....	31
オートパワーオフ機能 .....	31
マスターボリュームを調節する .....	32
パネルロック機能 .....	32
USBフラッシュメモリの取り扱いについて .....	32
演奏までの流れ .....	33
ステータス確認と基本操作 .....	34
ステータス確認 .....	34
画面選択 .....	38
カーソル移動と値の変更 .....	39
画面操作のアイコン .....	40
文字入力と数値入力 .....	41
演奏する .....	44
ライブセット画面でパフォーマンスを選ぶ .....	44
困ったときは .....	45
工場出荷時の状態に戻す (イニシャライズ オールデータ) .....	45
仕様 .....	46
索引 .....	47
製品登録のご案内 .....	48
ソースコード配布について .....	48
保証とアフターサービス .....	49



# 特長

MONTAGE Mは、Motion Control Synthesis Engineを搭載したシンセサイザーです。Motion Control Synthesis Engineは、AWM2音源、FM-X音源とAN-X音源をシームレスに組み合わせ、モーションコントロールによる複雑な変化を加えることで、多彩なサウンドづくりができます。従来からある音色の再現だけでなく、まったく新しい音色の創出が可能です。

## Motion Control Synthesis Engine とは

3種類の異なる音源方式を組み合わせたハイブリッド音源と、多彩なコントロールソースで複雑な音の連続的な変化を実現するモーションコントロールを組み合わせた、トータル音源システムです。

### ハイブリッド音源

#### AWM2

リアルにサンプリングされたウェーブ（音の素材）をもとにさまざまな音を作る音源方式

#### FM-X

音のもととなる波形を別の波形で周波数変調させることで、新しい波形を作り出す音源方式

#### AN-X

シンプルな波形をもとにさまざまな変調をさせて、そこにフィルターをかけることで新しい音色を作る音源方式

### モーションコントロール

#### スーパーノブ

複数パラメーターを同時にコントロールして多次元音変化を生み出すノブ

#### モーションシーケンサー

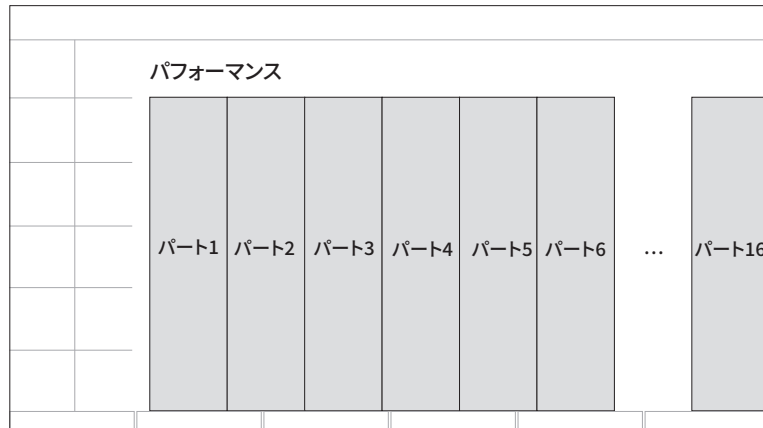
あらかじめ設定したコントローラーの動きを再生し、音色をシーケンシャルに変化させる機能

#### エンベロープフォロワー

入力されたオーディオのテンポに同期する音色変化を生成する機能

# パフォーマンスのしくみ

MONTAGE Mでは、音色に関する設定を「パフォーマンス」と呼びます。パフォーマンスを1つ選んで演奏します。パフォーマンスは最大16パートで構成されており、各パートには音が1つ割り当てられています。



複数のパートを組み合わせたパフォーマンスは「マルチパートパフォーマンス」、1パートだけのパフォーマンスは「シングルパートパフォーマンス」と呼びます。シングルパートパフォーマンスは、AWM2音源の「ボイス」のように扱うことが可能です。

パートには4種類あります。

## ■ ノーマルパート (AWM2)

AWM2音源で鳴らすパートです。ピアノ、オルガン、ギター、シンセサイザーなどの楽器音色が割り当てられます。

## ■ ノーマルパート (FM-X)

FM-X音源で鳴らすパートです。

## ■ ノーマルパート (AN-X)

AN-X音源で鳴らすパートです。

## ■ ドラムパート (AWM2)

AWM2音源で鳴らすパートです。打楽器の音色を割り当てられます。リズムパートの演奏に使用します。

## NOTE

- 初期値を使って最初から音作りをしたい場合には「InIt」のパフォーマンスを選びます。
- 本機を16マルチティンバー音源として使いたい場合は「Multi/GM」を使います。16パートすべてを使っているパフォーマンスで、パート10にはドラムが割り当てられています。

パフォーマンスでは、パートの音を選んだあと、スプリットやレイヤーといった鍵盤設定をすると、複数のパートを組み合わせて演奏できます。さらに、エディット画面からパフォーマンスやパートを編集し、モーションコントロールを使う設定にすることで、より複雑な操作が可能になります。

作成したパフォーマンスは、本機内に保存（ストア）するだけでなく、USBフラッシュメモリーにも保存（セーブ）できます。さらに、Soundmondo（音色管理とシェアリングのサービス）を使って、作成したパフォーマンスをバックアップしたり共有したりすることも可能です。

**Soundmondo** <https://www.yamaha.com/2/soundmondo>

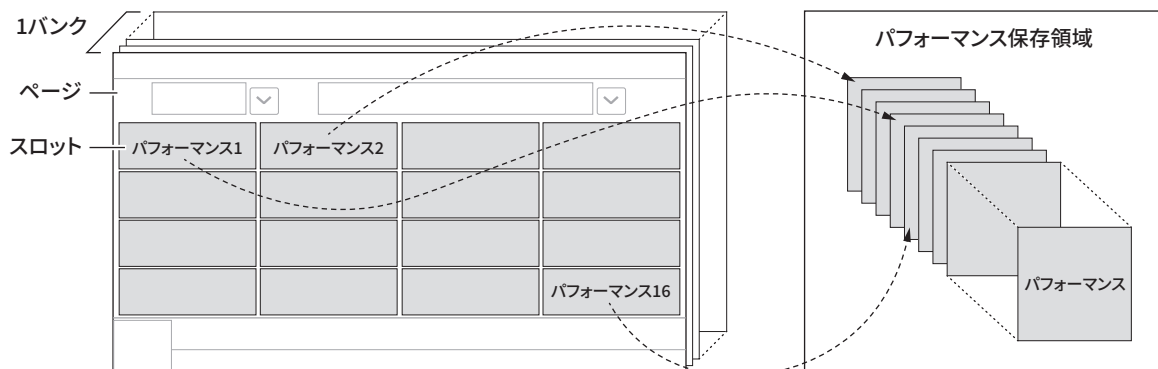
また、コンピューターにインストールしたExpanded Softsynth Plugin for MONTAGE Mと組み合わせて使うことで、DAWでの音楽制作で使用する音とライブで使用する音を、本機ハードウェアとソフトウェアの間で共有して活用できます。

# ライブセットのしくみ

MONTAGE Mには、作成したパフォーマンスなどを保存し、管理するためのしくみとして、ライブセット機能が装備されています。ライブセット機能を使うと、作成したパフォーマンスだけでなく、演奏時にパフォーマンスと組み合わせて使うMIDIやオーディオなどのファイルも登録できます。

ライブセット画面には、1ページあたり16個の-slotがあり、最大16組の設定を並べて保存できます。たとえば、曲の進行に合わせて、パフォーマンスの音量をslotごとに覚えて登録しておくなどの使いかたができます。

ライブ演奏のときは、slotを選んでパフォーマンスを切り替えます。



## NOTE

各slotにはパフォーマンス実体へのリンク情報が保存されます。パフォーマンスをエディットし、ストアした場合は、該当パフォーマンスへのリンクを持つすべてのslotに結果が反映されます。

## ライブセットのバンク

ライブセットのページを複数ごとにまとめて、パフォーマンスを管理するのがバンクです。1バンクにつき、16ページのライブセットを管理できます。

バンクには、プリセットバンク、ユーザーバンク、ライブラリーバンクの3種類があります。

### ■ プリセットバンク

プリセットパフォーマンスが登録されているバンクです。

プリセットバンクでエディットしたパフォーマンスは、プリセットバンクには保存できません。ユーザーバンクに保存します。

#### NOTE

内蔵パフォーマンスの一覧は「データリスト」をご参照ください。

### ■ ユーザーバンク

自分がエディットしたライブセットが登録されているバンクです。初期状態では何も登録されていません。

8バンク(128ページ分)あり、合計2,048個のパフォーマンスを登録できます。

ライブ演奏の曲順に並べておくことができます。

### ■ ライブラリーバンク

ライブラリーファイルに含まれるパフォーマンスが登録されたバンクです。初期状態では何も登録されていません。

1つのバンクに1つのライブラリーファイルを登録できます。

ライブラリーファイルは、ヤマハウェブサイトなどからダウンロードできます。

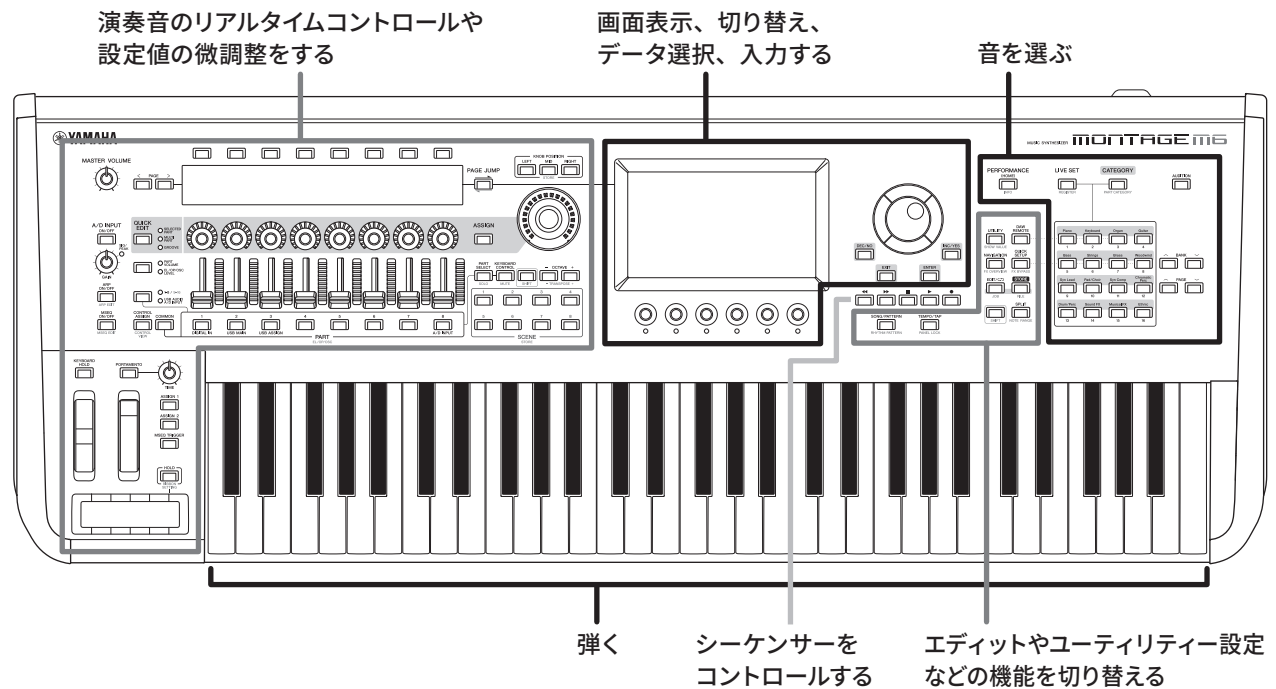
初めて本機を起動したときにはプリセットバンクのライブセット画面が表示されます。

起動時の画面は、ライブセット画面またはパフォーマンス画面に設定できます。([UTILITY]→System)

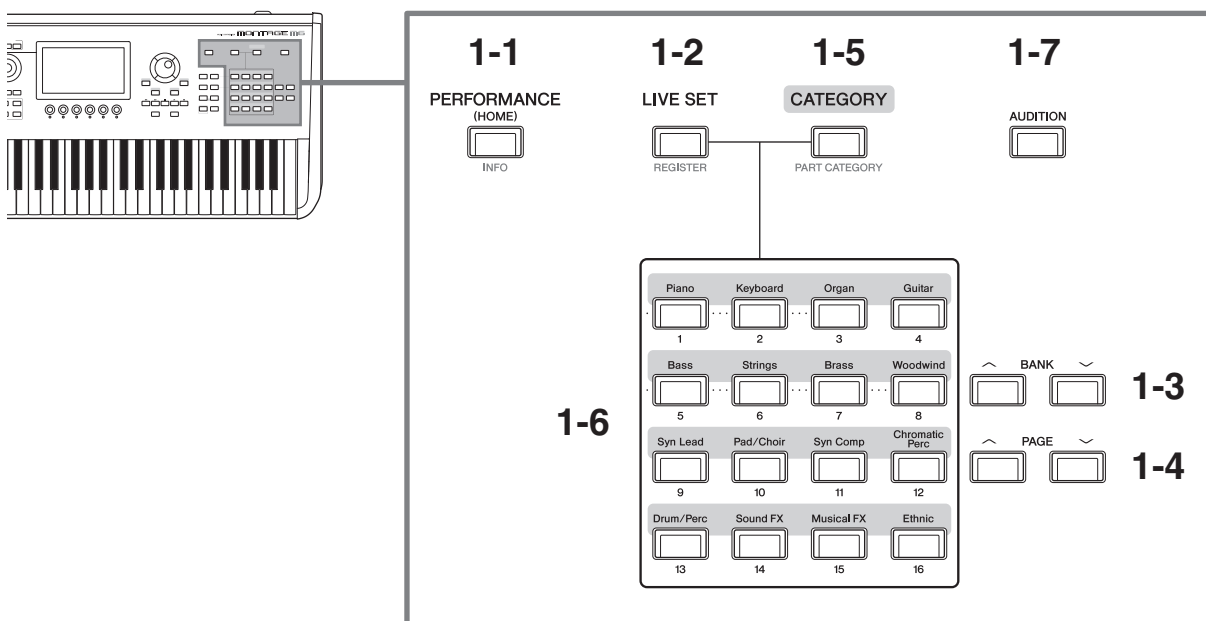
# 各部の名称と機能

各部の名称と機能の概要を説明します。

## トップパネル



## 音を選ぶ



## 1-1 [PERFORMANCE] ボタン (INFO)

パフォーマンス画面が表示されます。ボタンを押すたびにパフォーマンスのビュー（画面）が切り替わります。

[SHIFT] ボタンを押しながらこのボタンを押すと、インフォメーションの確認画面（INFO 画面）が開きます。

## 1-2 [LIVE SET] ボタン (REGISTER)

ライブセット画面が表示されます。ボタンを押すたびにライブセットのバンクが切り替わります。

このボタンを押してから、画面に直接タッチするかスロットナンバー・カテゴリ名 選択ボタンを使うことで、表示されているライブセットページのスロットを選べます。

[SHIFT] ボタンを押しながらこのボタンを押すと、現在選択されているパフォーマンスをライブセットに登録する画面が開きます。よく使うパフォーマンスをライブセットに登録しておけば、ライブ中に素早くパフォーマンスを切り替えられます。

## 1-3 BANK ボタン

バンクを選びます。

## 1-4 PAGE ボタン

ライブセットのページを選びます。

カテゴリサーチ画面では、パフォーマンスの一覧をスクロールできます。

## 1-5 [CATEGORY] ボタン (PART CATEGORY)

カテゴリサーチ機能呼び出すボタンです。ボタンを押すたびにパフォーマンスのバンクが切り替わります。

パフォーマンス画面でこのボタンを押すと、パフォーマンスカテゴリサーチ画面が開き、パフォーマンスを選択できます。

パートにカーソルがある場合は、[SHIFT] ボタンを押しながらこのボタンを押すことで、パートカテゴリサーチ画面が開きます。

## 1-6 スロットナンバー・カテゴリ名 選択ボタン

[LIVE SET] ボタンを選んだときは、ライブセットのスロットナンバー 1～16、[CATEGORY] ボタンを選んだときは、カテゴリを選べます。

### カテゴリ表記と意味

表記	意味
Piano	ピアノ
Keyboard	キーボード（エレクトリックピアノやクラビなど）
Organ	オルガン
Guitar	ギター
Bass	ベース
Strings	ストリングス（バイオリンなどの弦楽器および弦楽器アンサンブル）
Brass	ブラス（トランペットなどの金管楽器）
Woodwind	木管楽器（クラリネットやフルート、サクソなど）
Syn Lead	シンセリード（メロディーやソロを演奏するのに適したシンセ音）

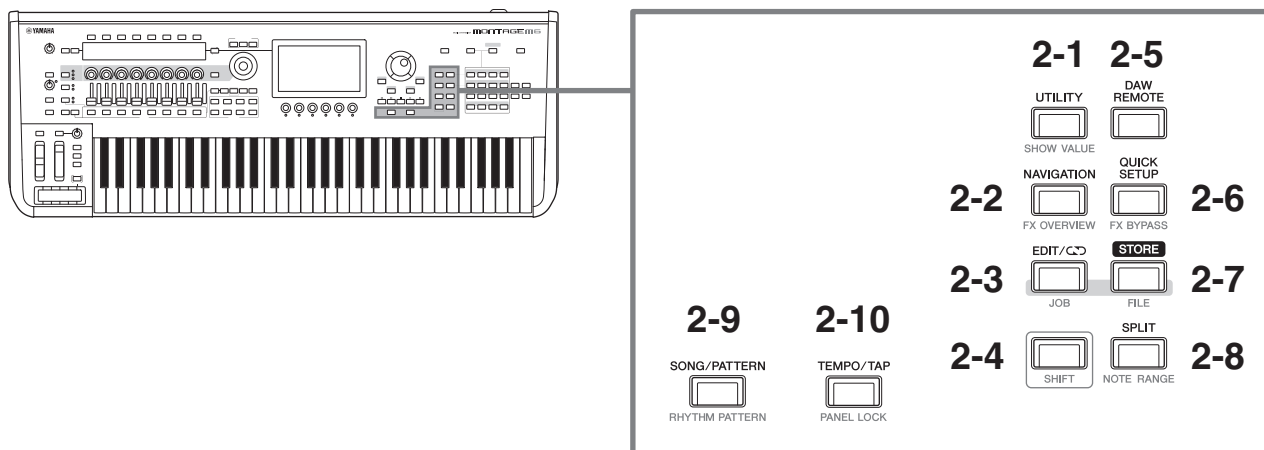
表記	意味
Pad/Choir	シンセパッド（広がりや厚みのあるシンセ音）
Syn Comp	シンセコンプ（コンピング奏法に適したシンセ音）
Chromatic Perc	クロマティックパーカッション（マリンバやグロッケンなど音階を持った打楽器）
Drum/Perc	ドラム、パーカッション
Sound FX	サウンドエフェクト（効果音）
Musical FX	ミュージカルエフェクト（音階を持った効果音）
Ethnic	エスニック（民族楽器）
No Assign	ノーアサイン（未分類）
Init	イニシャライズ（初期化）

DAW Remote 画面や Quick Setup 画面で設定を選ぶときにも使います。

## 1-7 [AUDITION] ボタン

パフォーマンス画面、ライブセット画面、カテゴリサーチ画面でこのボタンを押すと、選択中のパフォーマンスを使ったオーディションフレーズの再生と停止ができます。

## エディットやユーティリティー設定などの機能を切り替える



### 2-1 [UTILITY] ボタン (SHOW VALUE)

本機全体の設定を行うユーティリティー画面が表示されます。

[SHIFT] ボタンを押しながらこのボタンを押すと、メイン画面やサブ画面に、グラフィックなどで表示されていない設定値がある場合は、その設定値が表示されます。

### 2-2 [NAVIGATION] ボタン (FX OVERVIEW)

パートの音源の構造に合わせた、設定画面の地図が表示されます。地図の中からパラメーターを1つ選ぶと、そのパラメーターの詳細設定画面が開きます。

[SHIFT] ボタンを押しながらこのボタンを押すと、エフェクト概要の確認画面が表示されます。

### 2-3 [EDIT/COPY] ボタン (JOB)

パフォーマンス (10 ページ)、ライブセット (11 ページ)、パターン (オペレーションマニュアル参照) の編集画面が表示されます。

パフォーマンスのパラメーター編集集中にボタンを押すと、コンペア機能を使えます。

コンペア機能を使うと、編集前の音色と編集後の音色を聞き比べて確認できます。

エディット画面が表示された状態で、[EDIT/COPY] ボタンを押します。[EDIT/COPY] ボタンが点滅し、一時的に編集前の状態に戻ります。[EDIT/COPY] ボタンをもう一度押すと、編集後の状態に戻ります。

[SHIFT] ボタンを押しながらこのボタンを押すと、ジョブの設定画面 (JOB 画面) が表示されます。

### 2-4 [SHIFT] ボタン

他のボタンと組み合わせることで、ボタンの下に赤で印字された機能呼び出すときに使います。

その他の機能については、オペレーションマニュアルをご参照ください。

### 2-5 [DAW REMOTE] ボタン

パフォーマンスの DAW Remote 画面が表示されます。すぐ右のロットナンバー・カテゴリー名 選択ボタンと組み合わせて使うと、DAW Remote のモード切り替えができます。

### 2-6 [QUICK SETUP] ボタン (FX BYPASS)

ユーティリティーの Quick Setup 画面が表示されます。すぐ右のロットナンバー・カテゴリー名 選択ボタンと組み合わせて使うと、Quick Setup の切り替えができます。

[SHIFT] ボタンを押しながらこのボタンを押すと、エフェクトのバイパス設定画面 (FX BYPASS 画面) が表示されます。

## 2-7 [STORE] ボタン (FILE)

ストア画面が表示されます。ストア画面では、新規パフォーマンスとして名前を付けて保存するか、すでに保存されているパフォーマンスに上書き保存するかを選びます。

[SHIFT] ボタンを押しながらこのボタンを押すと、ファイル設定画面 (FILE 画面) が表示されます。

## 2-8 [SPLIT] ボタン (NOTE RANGE)

パフォーマンスの Split Job 画面が表示されます。

[SHIFT] ボタンを押しながらこのボタンを押すと、ノートレンジの設定画面 (NOTE RANGE 画面) が表示されます。

## 2-9 [SONG/PATTERN] ボタン (RHYTHM PATTERN)

パフォーマンスの Play/Rec 画面が表示されます。

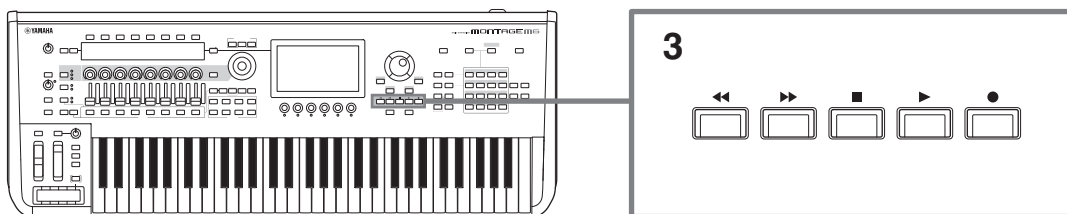
[SHIFT] ボタンを押しながらこのボタンを押すと、リズムパターンの設定画面 (RHYTHM PATTERN 画面) が表示されます。

## 2-10 [TEMPO/TAP] ボタン (PANEL LOCK)

ユーティリティのテンポセッティング画面が表示されます。

[SHIFT] ボタンを押しながらこのボタンを押すと、パネルロックされ、トップパネル上のボタン操作が無効になります。もう一度操作するとパネルロックが解除されます。

## シーケンサーをコントロールする



### 3 シーケンサートランスポートボタン

パターン、ソング、オーディオのシーケンスデータの再生や録音をコントロールします。

#### [◀◀] (バック) ボタン

ソングの再生位置を1小節ずつ戻します。

#### [▶▶] (フォワード) ボタン

ソングの再生位置を1小節ずつ進めます。

#### [■] (ストップ) ボタン

ソングの再生や録音を止めます。停止中にもう一度押すと、再生位置が先頭に戻ります。

鍵盤から指を離しても再生され続けるアルペジオ (アルペジオ ホールド スイッチがオン状態) を止めることもできます。

#### [●] (レコード) ボタン

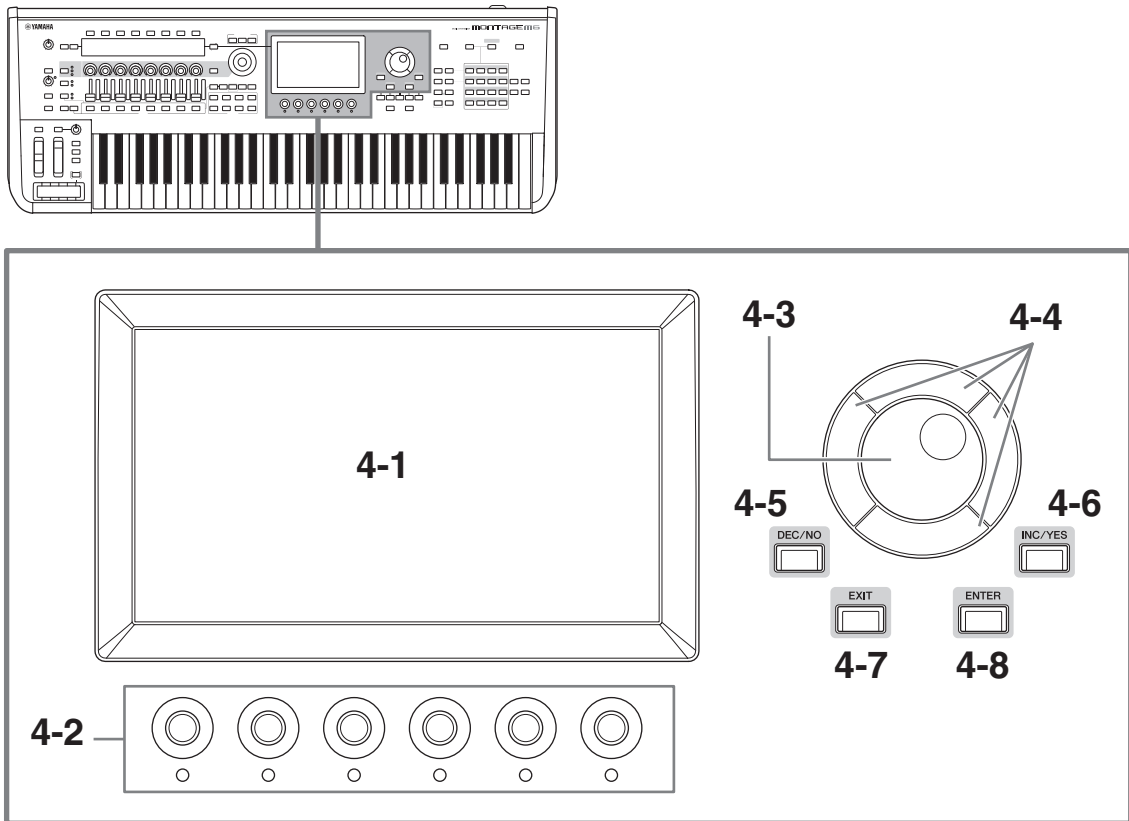
録音画面が表示されます。録音画面でこのボタンを押してレコードセットアップ画面に切り替えると、ボタンが点滅します。[▶] (プレイ) ボタンを押すと録音が始まり、ボタンが点灯します。

#### [▶] (プレイ) ボタン

ソングの再生や録音を開始します。再生や録音を開始すると、テンポに合わせてボタンが点滅します。オーディオのときはボタンが点灯します。



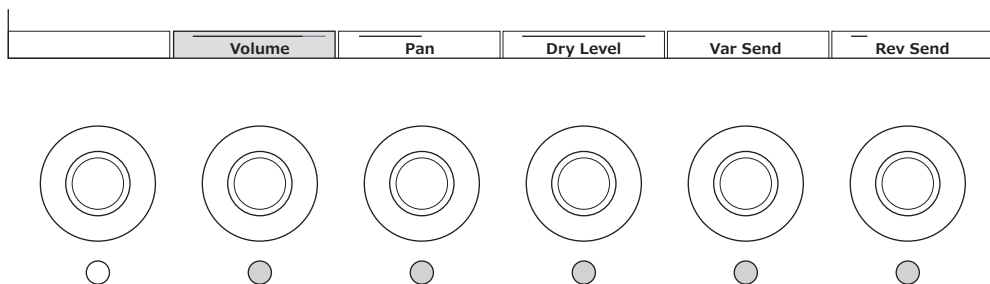
## 画面表示、切り替え、データ選択、入力する



### 4-1 メイン画面 (タッチパネル)

さまざまな情報が表示されます。画面にタッチすることで表示内容进行操作できます。スロットナンバー・カテゴリー名 選択ボタン、カーソルキー、データダイヤル、ディスプレイノブなどを使ってカーソルを選び、値を変えることもできます。詳しくは、「ステータス確認と基本操作」(34 ページ)をご覧ください。

### 4-2 ディスプレイノブ



メイン画面内で選択されている段のパラメーターを操作できます。

メイン画面下部にパラメーターが表示され、ランプが点灯しているノブを動かすことで設定を変更できます。

### 4-3 データダイアル

画面中のカーソルがある位置の値を変更するときに使います。

設定レンジの大きいパラメーター値を変更する場合は、ダイアルを速く回すことで、値の変化量が大きくなります。

### 4-4 カーソルボタン

画面中のカーソルを上下左右に移動します。

### 4-5 [DEC/NO] ボタン

画面中のカーソルがある位置の値を、1つずつ減らす (DEC = decrement) ことができます。

ストアやジョブの中止 (NO) にも使います。

設定レンジの大きいパラメーター値を変更する場合は、[SHIFT] ボタンを押しながら [DEC/NO] ボタンを押すことで、値を10ずつ減らすことができます。

### 4-6 [INC/YES] ボタン

画面中のカーソルがある位置の値を、1つずつ増やす (INC = increment) ことができます。

ストアやジョブの確認 (YES) にも使います。

設定レンジの大きいパラメーター値を変更する場合は、[SHIFT] ボタンを押しながら [INC/YES] ボタンを押すことで、値を10ずつ増やすことができます。

### 4-7 [EXIT] ボタン

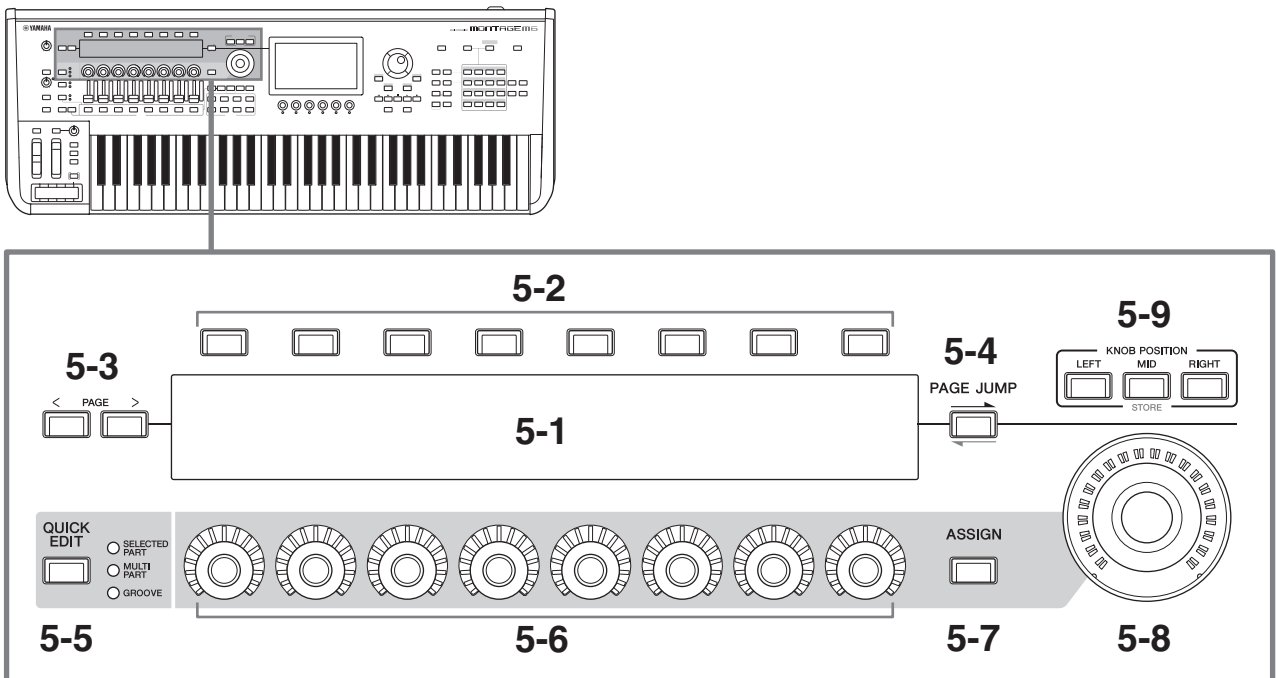
本機の画面に表示される機能は階層構造になっています。1つ上の階層の画面に戻るときに、このボタンを使います。

パフォーマンス画面でホーム画面以外が表示されているときには、[EXIT] ボタンでホーム画面に移動できます。

### 4-8 [ENTER] ボタン

選択した項目の画面を呼び出すときに使います。ストアやジョブの確認 (YES) にも使います。

## 演奏音のリアルタイムコントロールや設定値の微調整をする



### 5-1 サブ画面

### 5-2 タブ切り替えボタン

### 5-3 タブ PAGE ボタン

ノブ1～8を使って操作するパラメーターが表示されます。タブ切り替えボタンとタブ PAGE ボタンを使って表示を切り替えます。

表示されるパラメーターは、エディット中のパートの音源方式によって変わります。

### 5-4 [PAGE JUMP] ボタン

サブ画面で選択中のパラメーターの詳細設定画面がメイン画面に表示されます。

[SHIFT] ボタンを押しながらこのボタンを押すと、メイン画面で詳細設定したパラメーターがサブ画面に表示されます。

### 5-5 [QUICK EDIT] ボタン

ノブ1～8でコントロールするパラメーターの種類を選びます。ボタンを押すたびに以下の設定が切り替わります。

表示	説明
SELECTED PART	選択したパートのパラメーターをコントロール
MULTI	複数パートのパラメーターをコントロール
GROOVE	グループ関連のパラメーターをコントロール

[ASSIGN] ボタンがオンのときは、[QUICK EDIT] ボタンがオフになります。

### 5-6 ノブ1～8

8つのノブを回すことで、演奏中のパートの音色やアルペジオ再生、モーションシーケンサーに関する設定など、さまざまなパラメーターをリアルタイムで調節できます。左にある[QUICK EDIT] ボタンで、ノブ1～8の機能を切り替えます。

## 5-7 [ASSIGN] ボタン

オンにすると、ノブ1～8をアサインブルノブ1～8として使える状態になります。

## 5-8 スーパーノブ

ノブ1～8に割り当てられたパラメーター (Assign 1～8) を同時にコントロールできます。  
フットコントローラー (FC7) を使い、足元でスーパーノブをコントロールすることもできます。

スーパーノブでコントロールする値やAssign 1～8の機能の設定方法、フットコントローラーを使った設定については、オペレーションマニュアルをご参照ください。

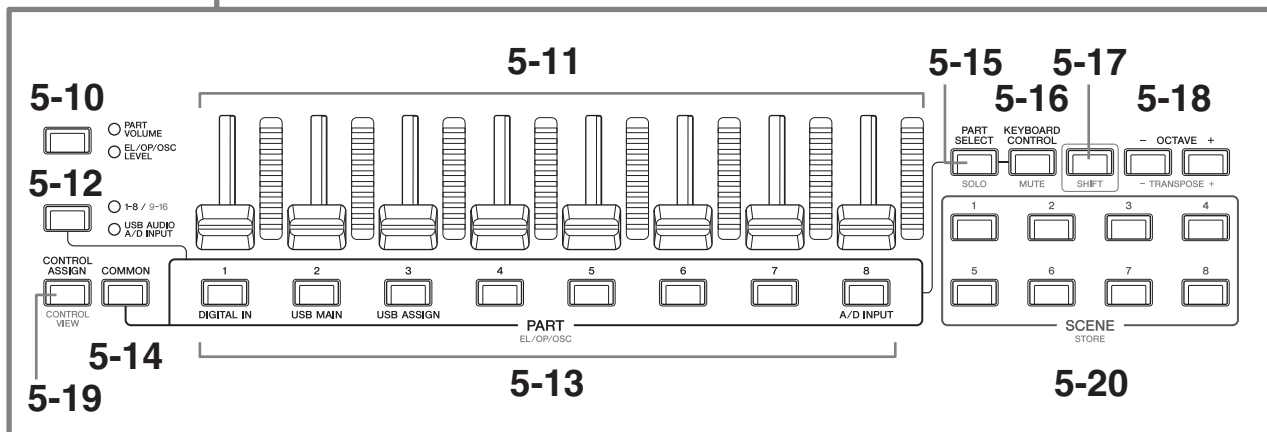
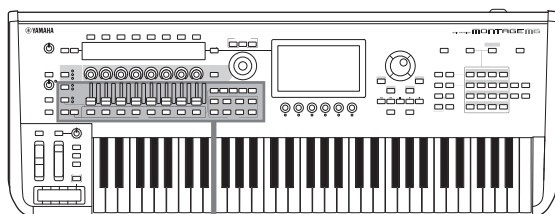
## 5-9 KNOB POSITION ボタン

ボタンを押すと、スーパーノブの位置に対応した値をサブ画面で確認できます。  
[PERFORMANCE] → Motion Control → Super Knobでも確認できます。

[LEFT] ボタン	スーパーノブを一番左 (最小値) へ動かしたときの設定値
[MID] ボタン	スーパーノブを中央 (中央値) にしたときの設定値。中央値は、ノブの中央以外の位置にも変更できます。 <b>NOTE</b> [MID] ボタンは、Super Knob Mid Position がオフ以外に設定されているときだけ有効です。
[RIGHT] ボタン	スーパーノブを一番右 (最大値) へ動かしたときの設定値

ノブ1～8を使ってパラメーターを調節したあと、[SHIFT] ボタンを押しながらこのボタンを押すと、設定が保存できます。

それぞれのボタンに設定を保存することで、3点の値を使ったモーフィングができます。



## 5-10 スライダーファンクション [PART VOLUME]/[EL/OP/OSC LEVEL] ボタン

コントロールスライダーをパートボリューム調節に使うか、エレメント、オペレーター、オシレーター、ドラムキーのレベル調節に使うかを選びます。ボタンを押すたびにPART VOLUMEとEL/OP/OSC LEVELが切り替わります。

## 5-11 コントロールスライダー 1 ~ 8

16個のパート (1 ~ 8/9 ~ 16) のボリューム、ノーマルパート (AWM2) を構成する8つのエレメント、ノーマルパート (FM-X) のオペレーター、ノーマルパート (AN-X) のオシレーター、ドラムパートのキーのボリュームをリアルタイムでコントロールします。

スライダーファンクション [PART VOLUME]/[EL/OP/OSC LEVEL] ボタンでEL/OP/OSC LEVELを選んだ場合は、PART ボタンで選んだパートのエレメント、オペレーター、オシレーター、ドラムキーのレベル調節ができます。

### NOTE

- コントロールスライダーがすべて0になっている場合は、本機の音が鳴らない可能性があります。鍵盤を弾いても音が鳴らない場合や、ソングを再生させても音が鳴らない場合などは、スライダーの位置を変えてみてください。
- [MASTER VOLUME] ノブでは、本機から出力されるオーディオ音声のボリュームを調節します。それに対して、コントロールスライダーではパートのエレメント、キー、オペレーターやパフォーマンスの各パートのボリュームを、パラメーターの設定値として変更することになります。したがって、変更された値は、パフォーマンスデータとして保存 (ストア) できます。

## 5-12 パートグループ [1-8/9-16]/[USB AUDIO / A/D INPUT] ボタン

PART ボタンをパート1 ~ 16に使うか、USB AUDIO / A/D INPUT に使うかを選びます。ボタンを押すたびに1-8/9-16とUSB AUDIO / A/D INPUTが切り替わります。

[SHIFT] ボタンを押しながらこのボタンを押すと、PART ボタンで9-16の切り替えができます。1-8/9-16のランプが点灯しているときはPART ボタンがパート1-8に、1-8/9-16のランプが点滅しているときはPART ボタンがパート9-16に設定されています。

## 5-13 PART ボタン (EL/OP/OSC)

パートグループ [1-8/9-16]/[USB AUDIO / A/D INPUT] ボタンで1-8/9-16に設定されている場合は、これらのボタンでパート1 ~ 8またはパート9 ~ 16を選べます。

パートグループ [1-8/9-16]/[USB AUDIO / A/D INPUT] ボタンでUSB AUDIO / A/D INPUT に設定されている場合は、これらのボタンでDIGITAL IN、USB MAIN、USB ASSIGN、A/D INPUTを選べます。

[SHIFT] ボタンを押しながらこれらのボタンを押すと、Element1 ~ 8、Operator1 ~ 8、Oscillator1 ~ 3、Noiseを選べます。

## 5-14 [COMMON] ボタン

パート、エレメント、オペレーター、オシレーターのCOMMONに切り替えます。

## 5-15 [PART SELECT] ボタン (SOLO)

パートグループ[1-8/9-16]/[USB AUDIO / A/D INPUT]ボタンで1-8/9-16を選んだ場合は、PARTボタンでパート1～8またはパート9～16を切り替えられます。USB AUDIO / A/D INPUTに設定されている場合は、PARTボタンでDIGITAL IN、USB MAIN、USB ASSIGN、A/D INPUTを選べます。

[SHIFT]ボタンを押しながらこのボタンを押すと、PARTボタンでパートのソロ オンオフが切り替えられます。また、[SHIFT]ボタンを押しながら[PART SELECT]ボタンを押したあと、[SHIFT]ボタンを押しながらPARTボタンを押すことで、PARTボタンでエレメント、オペレーター、オシレーターのソロ オンオフが切り替えられます。パートのソロがオンのときは、画面のSoloボタンやSアイコンでも確認できます。

## 5-16 [KEYBOARD CONTROL] ボタン (MUTE)

KEYBOARD CONTROLをオンにすると、PARTボタンでキーボードコントロールのオンオフが切り替えられます。パートのキーボードコントロールをオンにすると、メイン画面に鍵盤アイコンが表示され、本機の鍵盤でパートを演奏できます。

[SHIFT]ボタンを押しながらこのボタンを押すと、PARTボタンでパートのミュート オンオフが切り替えられます。また、[SHIFT]ボタンを押しながら[KEYBOARD CONTROL]ボタンを押したあと、[SHIFT]ボタンを押しながらPARTボタンを押すことで、PARTボタンでエレメント、オペレーター、オシレーターのミュート オンオフが切り替えられます。パートのミュートがオンのときは、画面のMuteボタンやMアイコンでも確認できます。

## 5-17 [SHIFT] ボタン

他のボタンと組み合わせることで、ボタンの下に赤で印字された機能呼び出すときに使います。その他の機能については、オペレーションマニュアルをご参照ください。

## 5-18 OCTAVE ボタン (TRANSPOSE)

ボタンを押すたびに、鍵域が1オクターブ単位で動きます。

[SHIFT]ボタンを押しながらこのボタンを押すと、トランスポーズできます。ボタンを押すたびに、鍵盤のピッチが半音単位で上下します。

2つのボタンを同時に押すと標準(0)に戻ります。

## 5-19 [CONTROL ASSIGN] ボタン (CONTROL VIEW)

CONTROL ASSIGN画面が表示されます。

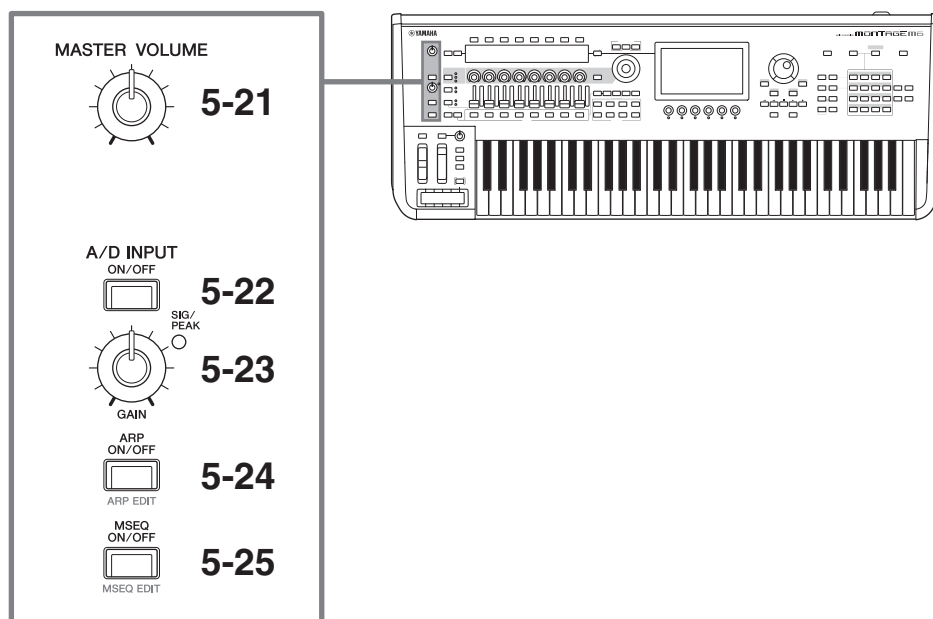
コントローラーに割り当て可能なパラメーターをメイン画面内で選択しているときに、このボタンを押し、コントローラーを操作すると、そのコントローラーの設定画面が開きます。

[SHIFT]ボタンを押しながらこのボタンを押すと、コントローラー設定の確認画面(CONTROL VIEW画面)が表示されます。

## 5-20 SCENE ボタン (STORE)

各ボタンにパートのパラメーター値やミュート、ミキシングの設定の一部などを、シーンとして記録できます。選択されているボタンは点灯、情報が記録されているボタンは半点灯、情報が何も記録されていないボタンは消灯します。

[SHIFT]ボタンを押しながらこのボタンを押すと、編集したシーン設定が保存できます。



## 5-21 [MASTER VOLUME] ノブ

マスターボリュームを調節します。

## 5-22 [A/D INPUT ON/OFF] ボタン

A/D INPUT 端子からの入力を有効にするか無効にするかを切り替えます。

## 5-23 A/D INPUT [GAIN] ノブ

A/D INPUT 端子から入力されたオーディオ信号のゲインを調節します。

入力があると、SIG/PEAKランプが青色に点灯します。クリッピング近くになると、SIG/PEAKランプが赤色に点灯します。入力音が最も大きな音のときにSIG/PEAKランプが赤色点灯するようにノブを調節します。

### NOTE

A/D INPUT 端子に接続する機器の出力レベルに応じて、[UTILITY] → Settings → Audio I/O → A/D Input の設定を変える必要があります。マイクなどの出力レベルの低い機器を接続した場合は Mic (マイク) に、オーディオ機器や電子楽器などの出力レベルの高い機器を接続した場合は Line (ライン) に設定します。

その他については以下の手順で画面を開き、設定を調節します。

### A/D インプット部のボリュームやパン、エフェクトへ送る量

- [PERFORMANCE] → Mixing
- [EDIT/↺] → Audio In → Mixing
- [NAVIGATION] → [PART COMMON] → A/D Input
- または
- [PART COMMON] → [NAVIGATION] → A/D Input
- パートグループ [1-8/9-16]/[USB AUDIO / A/D INPUT] を [USB AUDIO / A/D INPUT] にしてから PART ボタン 8 (A/D INPUT)

### A/D INPUT 端子からのオーディオ信号をエフェクト部のどのエフェクトに送るか

- [EDIT/↺] → Audio In → Routing

### A/D INPUT 端子のゲインの調整および有効にするかどうか

- A/D INPUT [GAIN] ノブや A/D INPUT [ON/OFF] ボタン
- [UTILITY] → Settings → Audio I/O → A/D Input



## 5-24 [ARP ON/OFF] ボタン (ARP EDIT)

アルペジオ再生のオンオフを切り替えます。

アルペジオとは、鍵盤を押さえるだけで、さまざまなフレーズやバックギングパターンが自動的に演奏される機能です。分散和音の自動演奏など、鍵盤演奏中の補助としてだけでなく、楽曲制作でバックギングフレーズを作成するためのツールとしても活用できます。

パートのアルペジオスイッチがオフの場合は、このボタンをオンにしても、そのパートでアルペジオは再生されません。

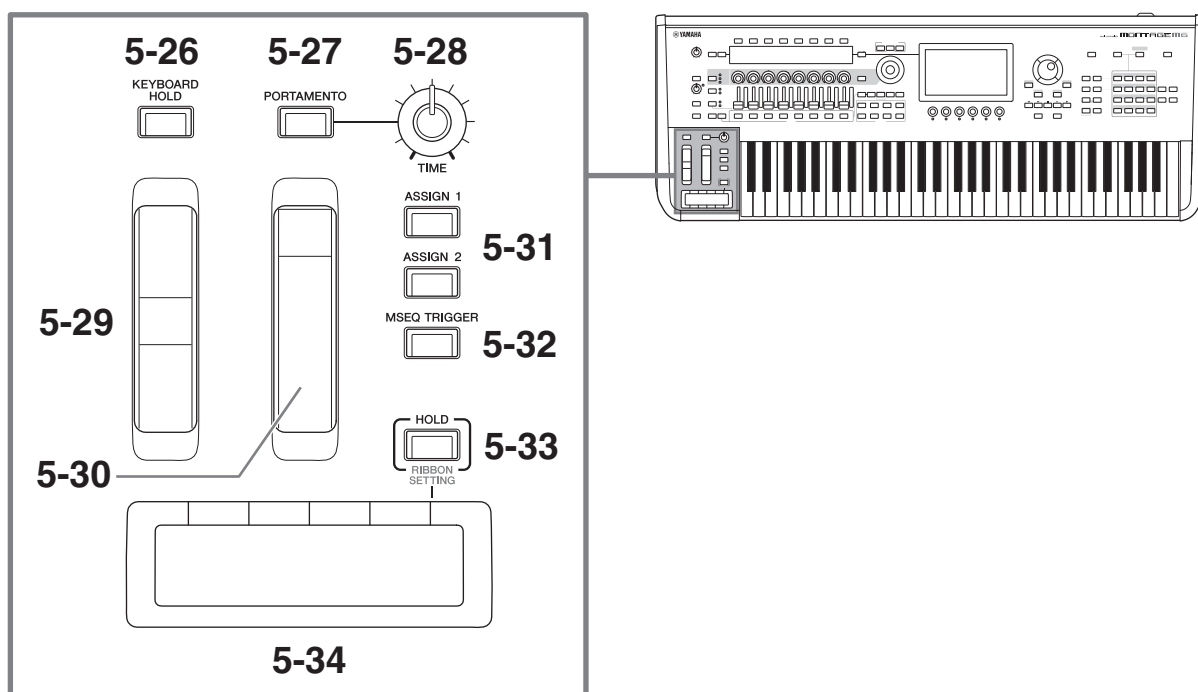
[SHIFT] ボタンを押しながらこのボタンを押すと、アルペジオの設定画面 (ARP EDIT 画面) が表示されます。

## 5-25 [MSEQ ON/OFF] ボタン (MSEQ EDIT)

モーションシーケンサーのオンオフを切り替えます。

パートやレーンのモーションシーケンサースイッチがオフの場合は、このボタンをオンにしても、そのパートでモーションシーケンスは再生されません。

[SHIFT] ボタンを押しながらこのボタンを押すと、モーションシーケンサーの設定画面 (MSEQ EDIT 画面) が表示されます。



## 5-26 [KEYBOARD HOLD] ボタン

ボタンをオンにしておくと、サステインペダルを使わなくても演奏にサステインをかけられます。コードチェンジしても次の音が混ざらないよう、自動で調節されます。

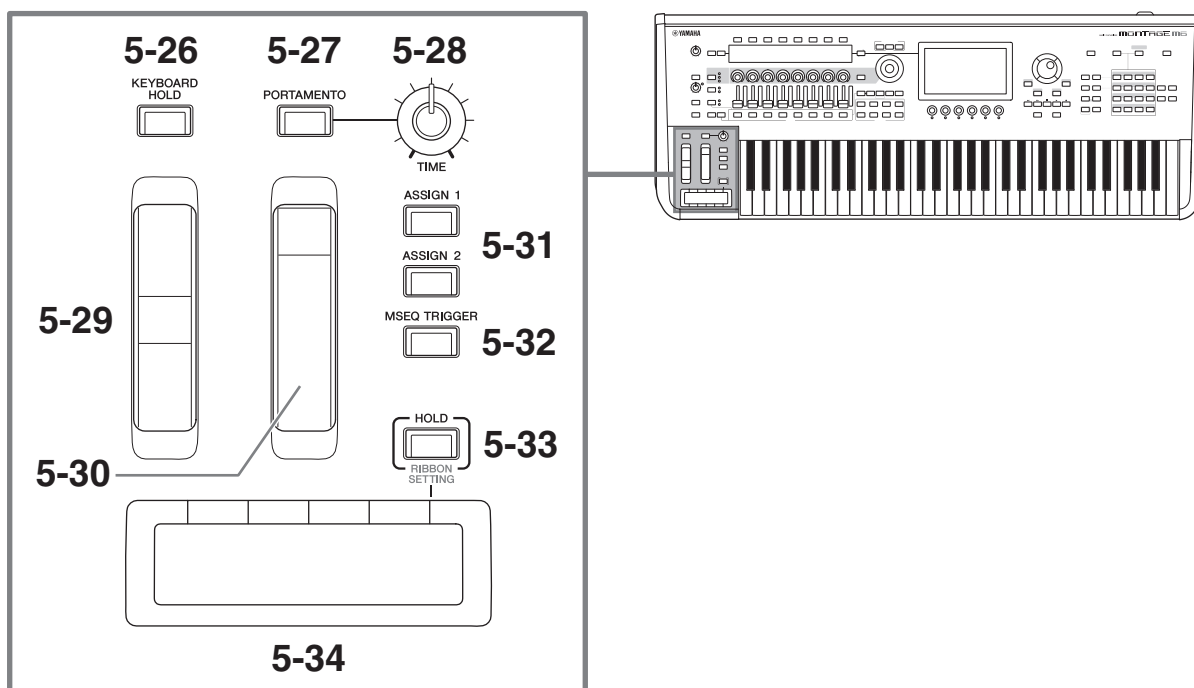
## 5-27 [PORTAMENTO] ボタン

ポルタメントのオンオフを切り替えます。

ポルタメントとは、最初に弾いた鍵から次に弾いた鍵までを連続的に変化させる機能です。

## 5-28 PORTAMENTO [TIME] ノブ

ポルタメントタイムを調節します。



## 5-29 ピッチベンドホイール

ピッチベンド効果のアップダウンをコントロールします。

ピッチが変化する幅（ピッチベンドレンジ）は、パートエディット → Part Setting → Pitchで設定します。

ピッチベンドホイールにピッチベンド以外の機能をパートごとに割り当てるには、パートエディット → Mod/Control → Control Assignで設定します。

## 5-30 モジュレーションホイール

モジュレーションホイールの機能をパートごとに割り当てるには、パートエディット → Mod/Control → Control Assignを設定します。

## 5-31 [ASSIGN 1] ボタン、[ASSIGN 2] ボタン

より多彩な表現を実現するために、さまざまな機能を割り当てて使うボタンです。

パートごとに機能を割り当てるには、パートエディット → Mod/Control → Control Assignで設定します。

XA機能を使って発音するエレメントをコントロールするには、エレメントエディット → Osc/Tune → XA Controlで設定できます。

このボタンを押したあと再度押すまでオンとするか、押し続けている間だけオンとするかは、コモン/オーディオエディット → Generalで設定できます。

## 5-32 [MSEQ TRIGGER] ボタン

[MSEQ ON/OFF] ボタンがオンになっているか、Motion SEQのTrigger設定がオンになっている場合は、このボタンを押すとモーションシーケンスが再生されます。

## 5-33 [HOLD] ボタン (RIBBON SETTING)

リボンコントローラーの設定を切り替えます。

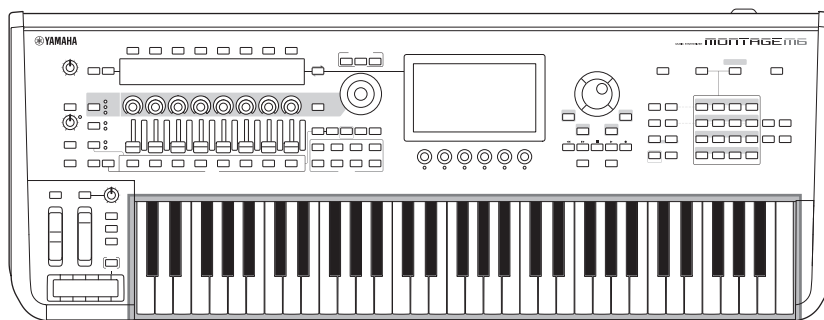
[SHIFT] ボタンを押しながらこのボタンを押すと、リボンコントローラーの設定画面 (RIBBON SETTING画面) が表示されます。

## 5-34 リボンコントローラー

表面を指で左右方向にこすることで、特定のパラメーターが連続的に変化します。また、設定によってステップ状（階段状）に変化させることもできます。

割り当てる機能によっては、ロータリースピーカーのスピードスイッチのように使うこともできます。

## 弾く



## 6 鍵盤

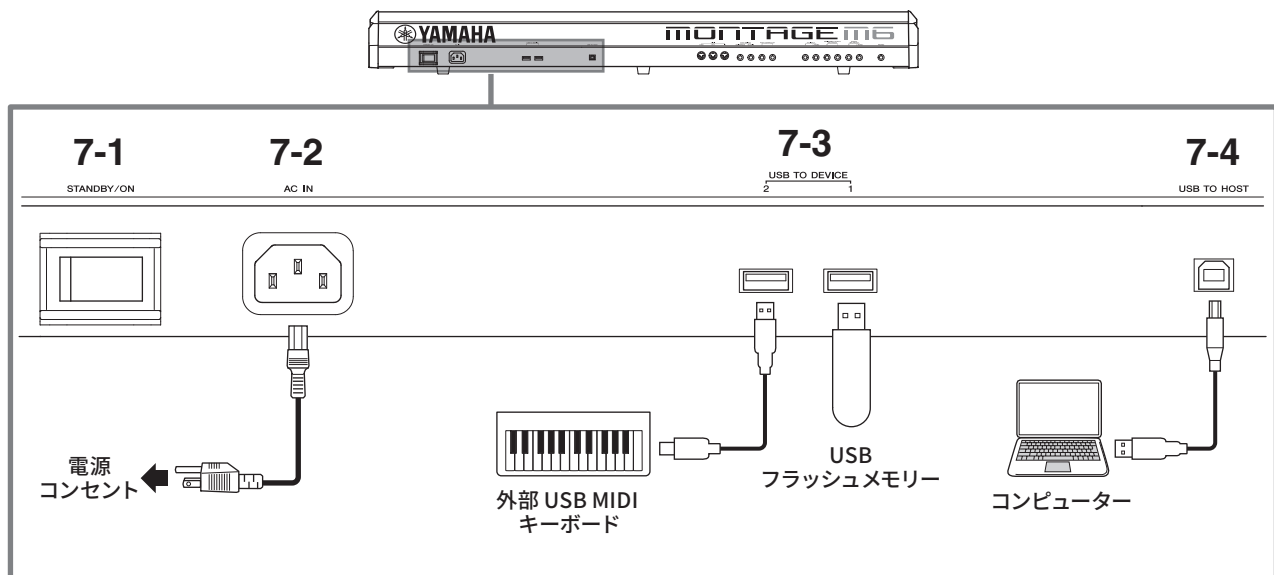
MONTAGE M6は61鍵、MONTAGE M7は76鍵、MONTAGE M8xは88鍵の鍵盤が装備されています。

アコースティックピアノのように、弾きかたの強弱でパフォーマンスの音量や音色をコントロールできるイニシャルタッチと、鍵盤を弾いたあとさらに押し込むことによって音色が変化するアフタータッチの、2種類のタッチレスポンス機能が使えるため、ダイナミックな表現力を得られます。アフタータッチは、パートごとにさまざまな機能を割り当てられます。

MONTAGE M8xに装備されているGEX鍵盤では、より細かい表現が可能です。アフタータッチの入力値を鍵ごとにコントロールできます。

# リアパネル

## 接続する



### 7-1 [STANDBY/ON] スイッチ

電源のスタンバイ/オン スイッチです。

### 7-2 [AC IN] 端子

付属の電源コードを接続する端子です。

### 7-3 USB TO DEVICE 端子

本機とUSBフラッシュメモリーやUSB MIDIキーボードを接続するために使います。

USBフラッシュメモリーを接続した場合は、本機で制作したデータをUSBフラッシュメモリーに保存（セーブ）したり、USBフラッシュメモリーから本機へデータを読み込んだり（ロード）できます。フラッシュメモリーと本機とのデータのやりとりは、[UTILITY] → Contents → Store/Save（またはLoad）で設定します。

USB MIDIキーボードを接続した場合は、そのUSB MIDIキーボードの仕様に応じて、本機に装備されている鍵盤と同じように扱えます。詳細についてはオペレーションマニュアルをご参照ください。

## USB TO DEVICE 端子ご使用上の注意

本機にはUSB TO DEVICE 端子があります。USB TO DEVICE 端子にUSB 機器を接続する場合は、以下のことをお守りください。

### NOTE

USB 機器の取り扱いについては、お使いのUSB 機器の取扱説明書もご参照ください。

### ■ 使用できるUSB 機器

- USBフラッシュメモリー
- USB MIDIキーボード

上記以外のUSB 機器 (USBハブ、マウス、コンピューターのキーボードなど) は、接続しても使えません。動作確認済みUSB 機器については、下記ウェブサイトの「資料／データ」から確認できます。ご購入の前に確認ください。

サポート・お問い合わせ：<https://jp.yamaha.com/support/>

本機では、USB1.1～3.0の機器がご使用できますが、機器への保存や機器からの読み込みにかかる時間は、データの種類や本機の状態により異なりますのでご了承ください。

### ご注意

USB TO DEVICE 端子の定格は、一端子あたり最大5V/500mAです。定格を超えるUSB 機器は故障の原因になるため、接続しないでください。

### ■ USB 機器の接続

USB TO DEVICE 端子の形状に合うプラグを上下の向きに注意して差し込んでください。

### ご注意

- 再生や録音中、ファイル操作中 (保存、コピー、削除、フォーマットなど)、およびUSBフラッシュメモリーへのアクセス中には、USBフラッシュメモリーの抜き差しを行わないでください。本機の機能が停止したり、USB 機器やデータが壊れたりするおそれがあります。
- USB 機器の抜き差しは、数秒間隔を空けてください。
- USBケーブルはABタイプで、3メートル未満のものをご使用ください。

## 7-4 [USB TO HOST] 端子

本機とコンピューターのUSB 端子とを、USBケーブルで接続するために使います。これにより、コンピューターと本機とでMIDIデータやオーディオデータの送受信ができます。MIDIケーブルでの送受信と違い、USBケーブルではポート信号を扱えます。本機で扱えるポートについてはオペレーションマニュアルをご参照ください。

### NOTE

オーディオデータの送信は、サンプリング周波数44.1 kHz時、最大32チャンネル (16ステレオチャンネル)、サンプリング周波数44.1～192 kHz時、最大8チャンネル (4ステレオチャンネル) です。

オーディオデータの受信は、最大6チャンネル (3ステレオチャンネル) です。

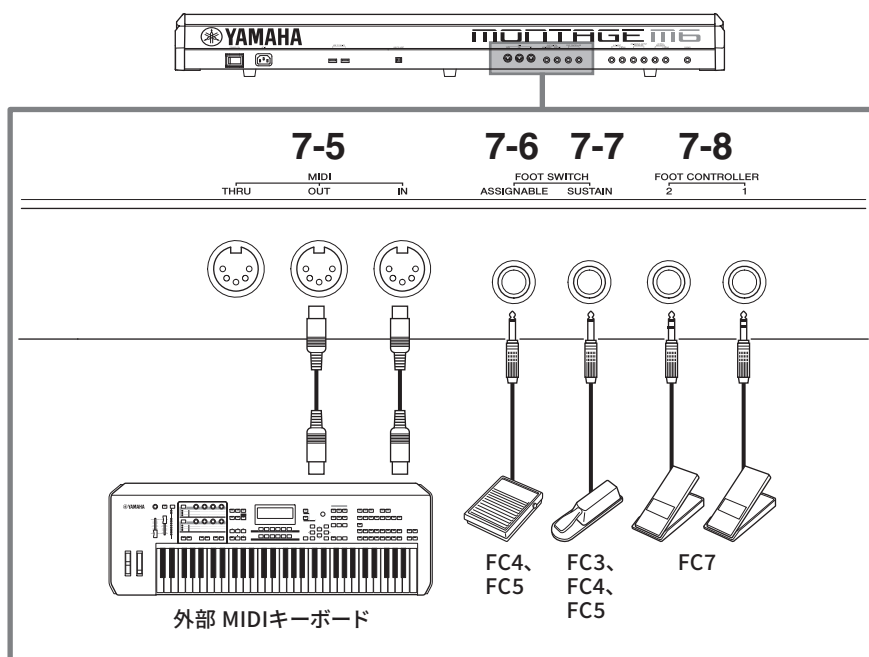
## [USB TO HOST] 端子ご使用時の注意

[USB TO HOST] 端子でコンピューターと接続するときは、コンピューターや本機の停止 (ハングアップ) によるデータの損失を防ぐため、以下のことを行ってください。

### ご注意

- USBケーブルはABタイプをご使用ください。
- 本機の電源オンオフやUSBケーブルの抜き差しをする前に、以下のことを行ってください。
  - すべてのアプリケーションを終了させてください。
  - 本機からデータが送信されていないか確認してください。(鍵盤の演奏やソングの再生で、本機からデータが送信されません。)
- 本機の電源オンオフやUSBケーブルの抜き差しは、6秒以上間隔を空けてください。

コンピューターや本機が停止したときは、アプリケーションやコンピューターを再起動するか、本機の電源を入れ直してください。



## 7-5 MIDI 端子

外部MIDI機器を接続します。

## 7-6 FOOT SWITCH [ASSIGNABLE] 端子

## 7-7 FOOT SWITCH [SUSTAIN] 端子

フットスイッチやサステインペダルを接続する端子です。

FOOT SWITCH [SUSTAIN] は別売のフットスイッチFC3、FC4、FC5を接続し、サステイン専用で使う端子です。FOOT SWITCH [ASSIGNABLE] は、別売のフットスイッチFC4やFC5を接続し、サステイン以外の機能を割り当てることができる端子です。たとえば、ライブセット画面でパフォーマンスを切り替えたりできます。

### NOTE

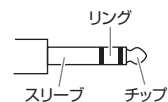


本書では、FC3AなどのFC3相当品とFC3をまとめて「FC3」、FC4AなどのFC4相当品とFC4をまとめて「FC4」と記載します。

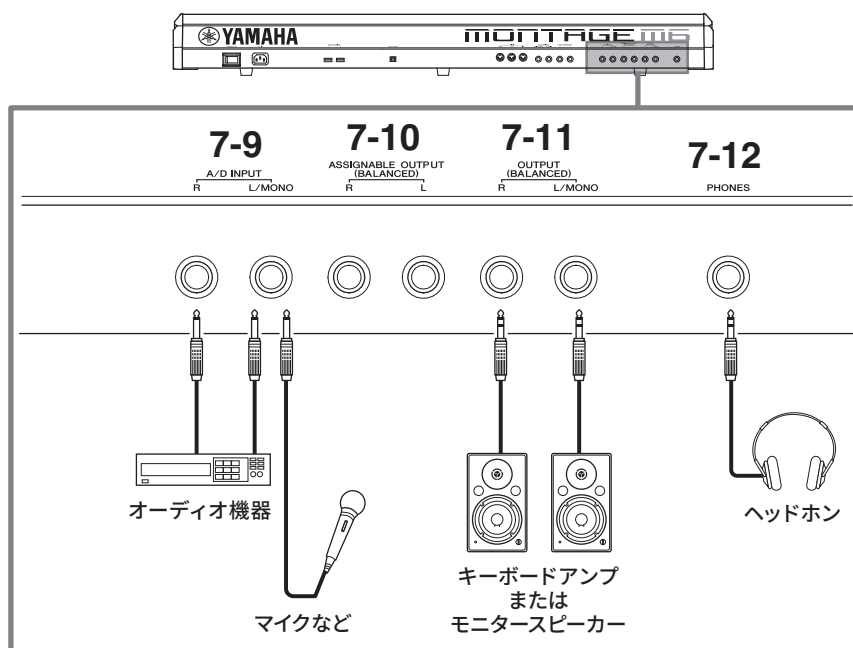
## 7-8 FOOT CONTROLLER 端子

別売のフットコントローラー FC7を接続します。

パートエディットでさまざまな機能を割り当てることで、音色、音量、ピッチなどを足元でコントロールできます。

### 端子の極性 (ピン配列)

入出力端子	端子の極性	バランス/アンバランス	端子の形状
7-10 ASSIGNABLE OUTPUT (BALANCED) 7-11 OUTPUT (BALANCED)	チップ：ホット (+) リング：コールド (-) スリーブ：グラウンド	バランス型	TRS フォーンプラグ 
7-12 [PHONES]	チップ：L リング：R スリーブ：グラウンド	—	
7-9 A/D INPUT	チップ：シグナル スリーブ：グラウンド	アンバランス型	TS フォーンプラグ 



## 7-9 A/D INPUT 端子

本機へ外部オーディオ信号を入力する標準ジャック端子です。マイクや、CDプレーヤーなどのオーディオ機器や、シンセサイザーなどの電子楽器を接続し、入力音声オーディオ入力パートとして鳴らすことができます。接続にはモノラル標準プラグを使います。オーディオ機器などでステレオ入力する場合は[L/MONO]端子と[R]端子に接続し、マイクなどでモノラル入力する場合は[L/MONO]端子だけに接続します。

さらに本機では、ボコーダーを内蔵音源のエフェクトとして使えます。ボコーダーを使うときは、[L/MONO]端子にマイクを接続し、マイクから入力する音声などのオーディオ信号によって、ボコーダーのかかりかたをコントロールできます。

また、エンベロープフォロワー機能やABS（オーディオビートシンク）機能を使う場合にも、この端子を使います。エンベロープフォロワー機能やABS機能の詳細については、オペレーションマニュアルをご参照ください。

### NOTE

- ギターやベースなどを接続する場合は、ピックアップがアクティブタイプのときは直接接続できます。パッシブタイプのときはエフェクターを介して接続してください。
- ボコーダー、エンベロープフォロワーともにA/D INPUT端子だけではなく、すべてのパート出力によるコントロールができます。

## 7-10 ASSIGNABLE OUTPUT (BALANCED) 端子 (TRS バランス出力)

OUTPUT端子とは別に、特定の音やパートを独立して出力できるTRSバランス出力端子です。特定の音やパートだけに外部エフェクトをかけたい場合などに使います。ただし、ASSIGNABLE OUTPUT端子から出力する音には、システムエフェクト、マスターエフェクト、マスターEQがかかりません。

独立して出力できる音、またはパートは以下のとおりです。

- ドラムパートの各キーに割り当てられた楽器音
- メトロノーム (クリック)
- パフォーマンスの各パート\*

\* オーディオ入力パート (AUDIO INパート) を含む (詳細はオペレーションマニュアルをご参照ください)

## 7-11 OUTPUT (BALANCED) 端子 (TRS バランス出力)

本機のオーディオ信号を出力するTRSバランス出力端子です。モノラル出力したい場合は[L/MONO]端子だけに接続します。

## 7-12 [PHONES] 端子

ヘッドホン接続するステレオ標準ジャックです。常にOUTPUT端子と同じ信号が出力されます。



# ご使用前の準備

## 電源の準備

[STANDBY/ON] (スタンバイ/オン) スイッチがスタンバイの状態になっていることを確認してから、図の順序で電源コードを接続します。

1. 付属の電源コードのプラグを本機リアパネルの [AC IN] 端子に接続します。

2. 電源コードのもう一端のプラグを電源コンセント (AC100V) に接続します。



警告

電源コードは、必ず付属のものをご使用ください。また、付属の電源コードをほかの製品に使用しないでください。故障、発熱、火災などの原因になります。

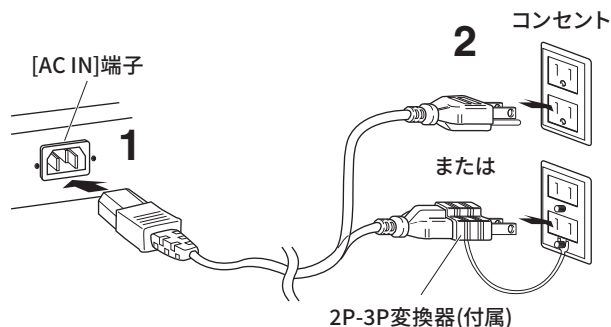


警告

本機はコンセントの近くに設置し、異常を感じた場合にはすぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

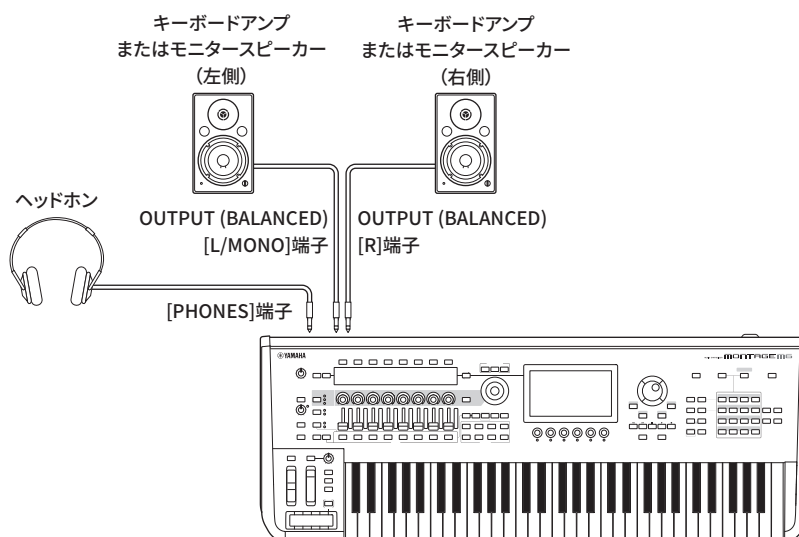
### NOTE

電源コードを外すときは、逆の手順で行ってください。



## スピーカーやヘッドホンの準備

本機の電源を入れる前に、音を鳴らすための準備をします。キーボードアンプやモニタースピーカー、ヘッドホンの電源を切った状態で、下図のように接続します。接続の際には、接続する機器をよく確認して、別途ケーブルをご用意ください。



## 電源を入れる

## 電源を切る

電源を入れる前に、本機とキーボードアンプやモニタースピーカーのボリュームが0になっていることを確認します。キーボードアンプやモニタースピーカーに接続しているときは、次の順番で電源をオンオフしてください。

### ■ 電源を入れるとき

ボリュームを0 → 本機をオン（画面が表示され、ボタンが点灯します） → アンプまたはスピーカーをオン

### ■ 電源を切るとき

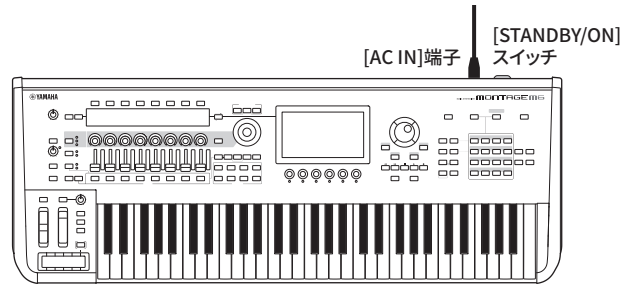
ボリュームを0 → アンプまたはスピーカーをオフ → 本機をスタンバイ（画面が消え、ボタンが消灯します）

本機の [STANDBY/ON]（スタンバイ/オン）スイッチは、鍵盤側から見てリアパネルの [AC IN] 端子の右にあります。



#### 警告

電源を切った状態でも微電流が流れています。この楽器を長時間使用しないときや落雷のおそれがあるときは、必ずコンセントから電源プラグを抜いてください。



## オートパワーオフ機能

オートパワーオフとは、電源の切り忘れによる無駄な電力消費を防ぐため、本機が一定時間操作されないと自動的に電源が切れる機能です。

### ■ オートパワーオフの設定

オートパワーオフ機能を有効（オン）にしたり、電源が自動的に切れるまでの時間が変更できたりします。

設定手順	[UTILITY] → Settings → Advanced → Auto Power Off
設定値（分）	off（オートパワーオフ解除）、5、10、15、30、60、120
初期設定	off（オートパワーオフ解除）

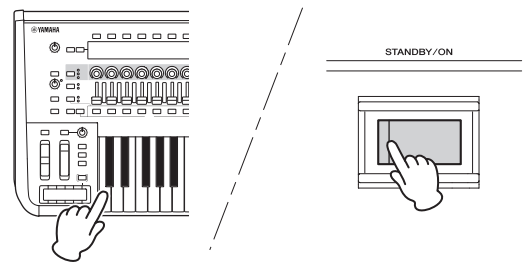
### ■ オートパワーオフの簡単解除

左端の鍵を押しながら電源を入れると、「Auto power off disabled.」と表示され、オートパワーオフ機能が解除されます。この場合、解除の設定は自動的に保存されます。

#### ご注意

オートパワーオフ機能により電源が切れると、保存していないデータは失われます。電源が切れる前に必ずデータを保存してください（オペレーションマニュアル参照）。

- アンプ、スピーカー、コンピューターなどの外部機器を本機に接続した状態で一定時間操作しない場合は、外部機器損傷を防ぐために、クイックガイドの手順に従って外部機器と本機の電源を切ってください。接続した状態で自動的に電源が切れるのを避けたい場合は、オートパワーオフを解除してください。
- 本機のオートパワーオフ設定が off の場合は、外部に保存したシステムデータを本機にロードしても、システムデータの設定に関わらず本機の設定は off のままになります。本機のオートパワーオフの時間が設定されている場合は、本機にロードしたシステムデータの設定に書き換わります。



#### NOTE

- オートパワーオフの設定時間はおおよその目安です。
- オートパワーオフで電源が切れたあと電源を入れなおす場合は、[STANDBY/ON] スイッチをオンにしてください。
- イニシャライズ オールデータを使ったあとは、オートパワーオフの設定が初期値（off）に戻るため、必要に応じて設定しなおしてください。

## マスターボリュームを調節する

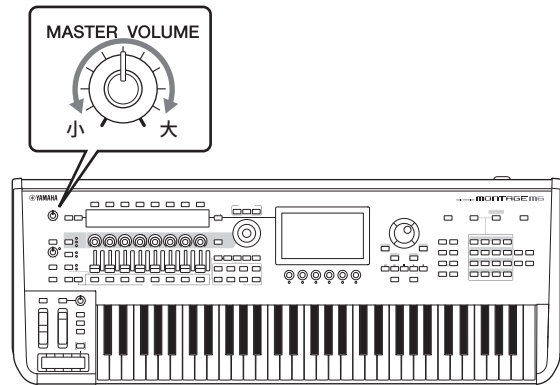
本機のボリュームを [MASTER VOLUME] ノブで最適な位置に調節します。



**注意**

大きな音量で長時間ヘッドホンを使用しないでください。聴覚障害の原因になります。

本機のマスターボリュームを調節してから、その他のボリュームを調節します。詳細はオペレーションマニュアルをご参照ください。



## パネルロック機能

[SHIFT] ボタンを押しながら [TEMPO/TAP] ボタンを押すと、トップパネルにロックがかかります。

パネルロック中は、鍵盤、ペダル、マスターボリューム、スーパーノブ、ピッチベンドホイール、モジュレーションホイール、リボンコントローラー、ロック解除操作以外はすべて無効となります。タッチパネルの操作も無効です。

もう一度 [SHIFT] ボタンを押しながら [TEMPO/TAP] ボタンを押すと、パネルロックが解除されます。

## USB フラッシュメモリーの取り扱いについて

本機に USB フラッシュメモリーを接続すると、本機で制作したデータを USB フラッシュメモリーに保存したり、USB フラッシュメモリーのデータを本機で再生したりできます。

### ■ 接続できる USB フラッシュメモリーの数

同時に使用できる USB フラッシュメモリーは、2 つです。

### ■ USB フラッシュメモリーのフォーマット

USB フラッシュメモリーは本機でフォーマットすることをおすすめします。他の機器でフォーマットした USB フラッシュメモリーは、本機で正しく動作しない場合があります。

#### ご注意

USB フラッシュメモリーをフォーマットすると、中身は消去されます。必要なデータが入っていないのを確認してからフォーマットしてください。

#### NOTE

フォーマットの方法は、オペレーションマニュアルをご参照ください。

### ■ 誤消去防止

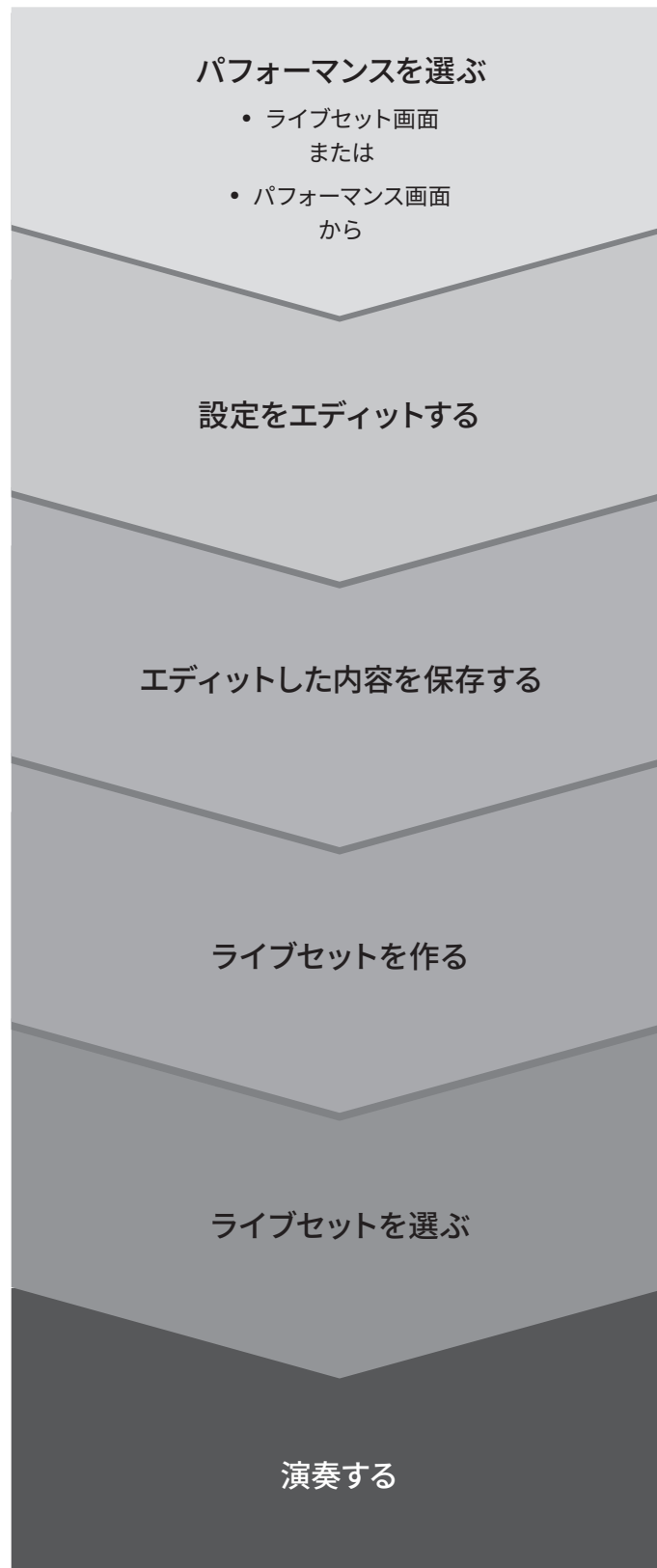
USB フラッシュメモリーには、誤ってデータを消してしまわないよう、ライトプロテクト機能の付いたものがあります。大切なデータが入っている場合は、ライトプロテクトで書き込みができないようにしましょう。逆に、データを保存する場合などは、ご使用前にお使いの USB フラッシュメモリーのライトプロテクトが解除されていることをご確認ください。

### ■ USB フラッシュメモリー接続時に電源を切るには

電源を切る場合は、再生、録音、ファイル操作（保存、コピー、削除、フォーマットなど）による USB フラッシュメモリーへのアクセス中でないことを確認してください。USB フラッシュメモリーやデータが壊れるおそれがあります。

# 演奏までの流れ

演奏までの流れは次のとおりです。



# ステータス確認と基本操作

トップパネル上のボタン、スライダー、画面などからステータスが確認できます。  
データダイアルやボタンを使ったり、メイン画面に直接タッチしたりすることで、画面の切り替えや設定変更などの基本操作ができます。


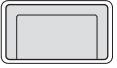
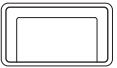
## ステータス確認

### トップパネル表示

トップパネル上のボタンは、明るさや色で操作対象が確認できます。

#### 明るさ

ボタンの明るさには3段階あります。

状態		説明
	点灯	機能がオン
	半点灯	選択中の設定で使えるが、設定がオフになっている 押すと反応し、機能が使える状態になる
	消灯	選択中の設定では操作対象外、設定がオフの状態 押ししても反応しない状態

#### 色

スライダーのスリットやボタンの色は、操作対象によって変わります。

#### スライダーのスリット

色		操作対象
明るい青	cyan	Internalパート
黄色	yellow	エレメント、ドラムキー、オペレーター、オシレーター
赤	red	オーディオ
青	blue	ExternalまたはDAW Remoteモードのパート

#### ボタン

色		操作対象
明るい青	cyan	ライブセット、パートセレクト
ミントグリーン	mint green	カテゴリー エレメント、オペレーター、オシレーターセレクト
緑	green	キーボードコントロール
白	white	リアルタイムコントロール
マゼンタ	magenta	ソロまたはミュート
赤	red	その他

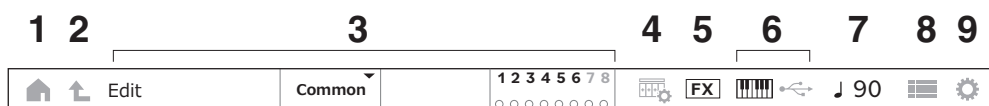
## メイン画面の表示

ここでは、メイン画面に常時表示されるナビゲーションバーについて説明します。

### ナビゲーションバー



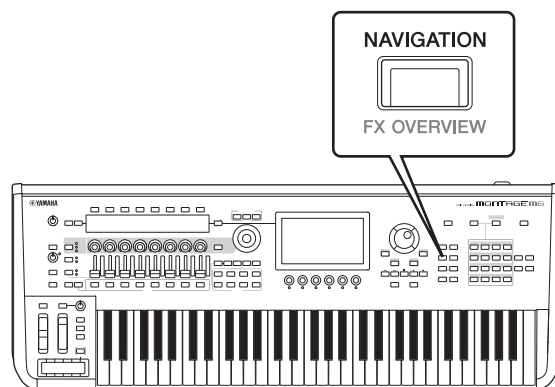
	表示		内容
1		ホーム	トップパネル上の [PERFORMANCE] ボタンと同じ機能 アイコンをタップすると、パフォーマンス画面（ホーム画面）が表示される。
2		エグジット	トップパネル上の [EXIT] ボタンと同じ機能 アイコンをタップすると、1つ上の階層画面に戻る。
3		インフォメーション エリア	選択中の画面名や、パート、エレメント、オペレーター、オシレーター、 ドラムキーなどの情報 ▽をタップすると、パートやエレメント、オペレーター、オシレーター、 ドラムキーを切り替えできる。
	ノーマルパートの場合		
			エレメント、オペレーター、オシレーターの状態が表示される • ミュート：緑のMアイコン • ソロ：赤のSアイコン
			エレメント番号 発音中のエレメントは、下の「○」が点灯する。 たとえば、ベロシティによって鳴らすエレメントを分けているとき などに、どのエレメントが鳴っているかを確認できる。
			オペレーター番号
			オシレーター番号
	ドラムパートの場合		
		ドラムキーの状態が表示される • 設定されているドラムキーの総数 • 鳴らしているドラムパートの音量（緑）をグラフ表示（弱→強）	
4		ビュー	パフォーマンス画面のビュー選択 アイコンをタップすると、リストが表示される。 [PERFORMANCE] ボタンを繰り返し押し直すことでもビューの切り替えが 可能。
5		エフェクト	インサクションエフェクト、システムエフェクト、マスターエフェクト のいずれかがオフになると、アイコンが消灯する アイコンをタップすると、エフェクトスイッチ画面が表示される。
6		クイック セットアップ	ローカルコントロールのオンオフやMIDI IN/OUT 設定 アイコンをタップすると、クイックセットアップ画面が表示される。
			ローカルコントロール：オン オフになると、アイコンが消灯する
			MIDI IN/OUT 設定：MIDI
			MIDI IN/OUT 設定：USB



	表示		内容
7	J 90	テンポセッティング	現在選択されているパフォーマンスのテンポアイコンをタップすると、テンポセッティング画面が表示される。
8		ライブセット	アイコンをタップすると、ライブセット画面が表示される。
9		ユーティリティ	アイコンをタップすると、ユーティリティ画面のうち、直前に開いた画面が表示される。

### ナビゲーションボタン

楽器全体の構造をフロー図で表現した「地図」が表示されます。地図の中から編集したい場所を選ぶと、その機能の詳細設定画面が表示されます。



### パフォーマンスやパートの種類

パフォーマンスやパートの種類は、フラグやアトリビュートで確認します。

フラグとは、パフォーマンスやパートが対応している音源方式についての表示です。

フラグ	意味
AWM2	AWM2 音源のパートだけで構成されるパフォーマンス AWM2 音源のパート
(1色)	FM-X 音源のパートだけで構成されるパフォーマンス FM-X 音源のパート
(2色)	FM-Xのパートとスマートモーフ情報を持つパフォーマンス FM-Xでスマートモーフ情報を持つパート
AN-X	AN-X 音源のパートだけで構成されるパフォーマンス AN-X 音源のパート

※複数の音源を組み合わせたパフォーマンスは、+サインを使って表記しています。



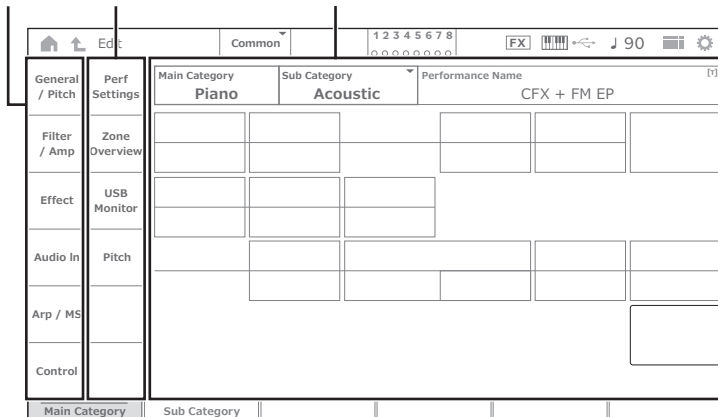
アトリビュートとは、パフォーマンスやパートの属性についての表示です。パフォーマンスやパートを検索するときに、アトリビュートを使ってフィルターをかけることで、条件に合ったものだけを見つけることができます。

アトリビュート	意味
AWM2	AWM2 音源
FM-X	FM-X 音源
AN-X	AN-X 音源
MC	モーションコントロールをフィーチャーしたパフォーマンス
SSS	Seamless Sound Switching (シームレス サウンド スイッチング) に対応したパフォーマンス Seamless Sound Switching (SSS) とは、演奏中にパフォーマンスを切り替えたときに、音切れなく自然につなぐ技術 SSS は、以下の条件のときに有効です。 • パート 9 ~ 16 を使用していない
Smart Morph	スマートモーフ情報を持つパフォーマンス
Single	シングルパートパフォーマンス (単独パートで構成されるパフォーマンス) 1種類の音を鳴らしたい場合に使う。 パフォーマンスカテゴリー検索画面ではパフォーマンス名が緑色で表示される。
Multi	マルチパートパフォーマンス (複数パートで構成されるパフォーマンス) 複数の音をレイヤー / スプリットさせて鳴らしたい場合に使う。 パフォーマンスカテゴリー検索画面ではパフォーマンス名が青色で表示される。
MOTIF XF	MOTIF XF のファクトリーパフォーマンス
MONTAGE	MONTAGE のファクトリーパフォーマンス
MONTAGE M	MONTAGE M のファクトリーパフォーマンス

## 画面選択

画面左から1列めのタブを選んでから、2列めのタブを選ぶと、パラメーター表示部が表示されます。  
パラメーター表示部で数値を変えたり、オンオフを切り替えたりすることで設定を変えます。

1 列めのタブ    2 列めのタブ    パラメーター表示部



以下のいずれかで設定変更を終了

- [EXIT] ボタンを押す
- [ENTER] ボタンを押す
- HOME アイコンをタップする
- 戻るアイコンをタップする

操作手順の説明では、  
トップパネル上のボタン（またはメイン画面内ナビゲーションバーのアイコン） → 1列めのタブ → 2列めのタブ → パラメーター表示部  
の順番で表記します。

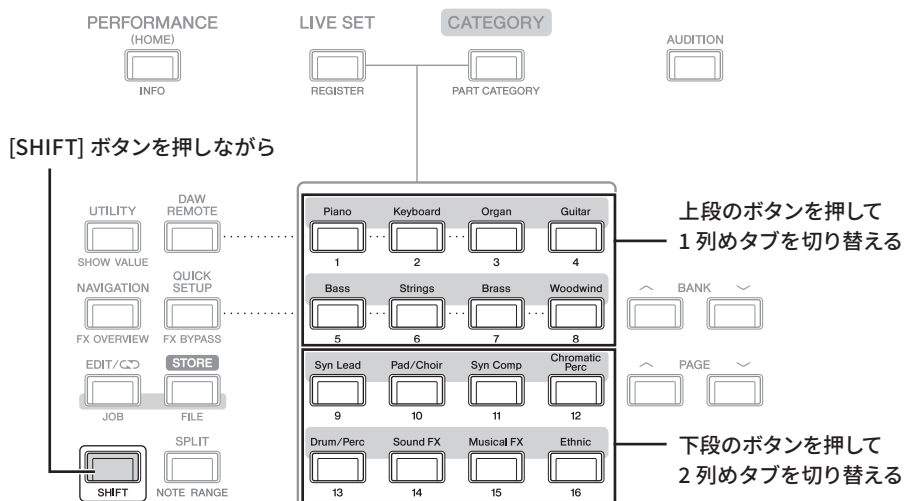
例

手順	[PERFORMANCE] → [EDIT/↺] → パート選択 → General/Pitch → Part Settings
手順	[UTILITY] → Settings → Sound

画面選択には、ボタンを使って選ぶ方法と、タッチパネルを使う方法があります。

## ボタンを使う方法

[SHIFT] ボタンを押しながらスロットナンバー・カテゴリー名 選択ボタンのいずれかを押すことで、タブの切り替えができます。



## タッチパネルを使う方法

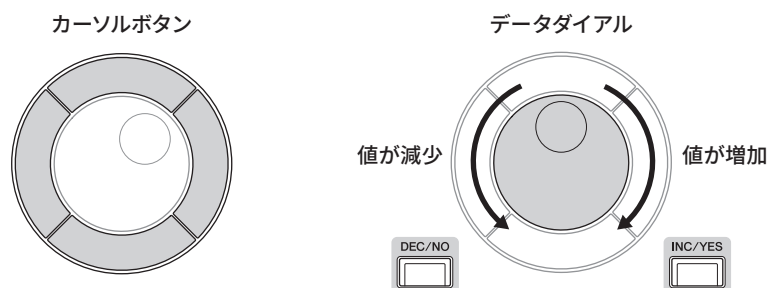
画面に表示されているタブをタップして選びます。

## カーソル移動と値の変更

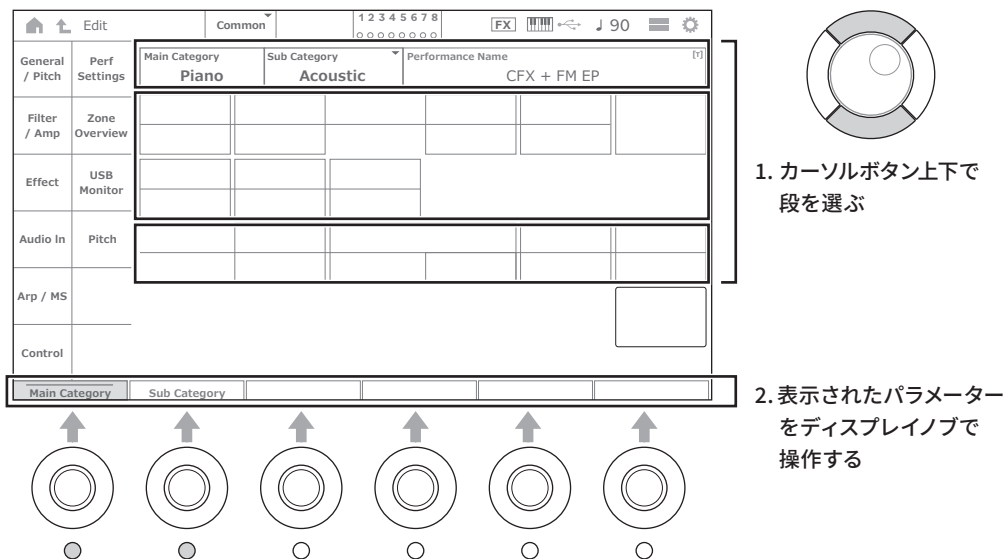
4つのカーソルボタン（上下左右）を使って、画面上のカーソル（反転表示部分）を上下左右方向に移動できます。メイン画面に表示されているアイテムに直接タッチすることでも、カーソルを移動できます。

カーソルが置かれている位置の値を、データダイヤルや[INC/YES]ボタン、[DEC/NO]ボタンで変更します。




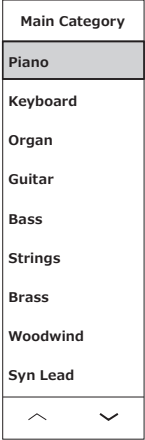



設定レンジの大きいパラメーター値を変更する場合は、[SHIFT]ボタンを押しながら[INC/YES]ボタンを押すと、値を10ずつ増やせます。[SHIFT]ボタンを押しながら[DEC/NO]ボタンを押すと、値を10ずつ減らせます。



カーソル位置を上下ボタンで動かすと、カーソル位置の段にあるパラメーターをディスプレイノブで操作できるようになります。



## 画面操作のアイコン

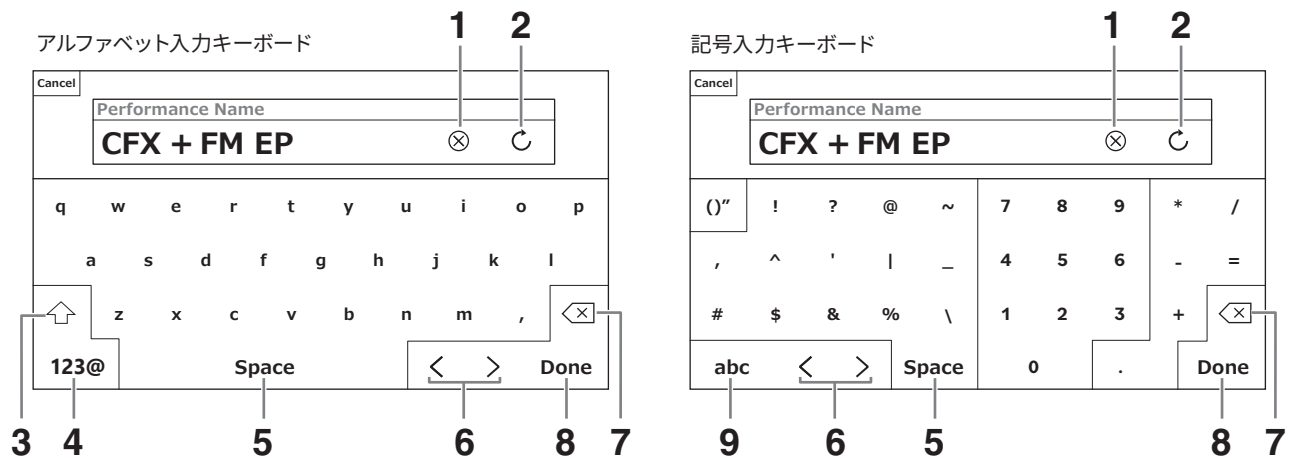
アイコン		操作
	コンテキストメニュー表示 	コンテキストメニューのボタンをタップして、操作画面を切り替える。
	ポップアップリスト表示 選択肢が多い場合は、上下スクロールボタン表示される 	表示された一覧の中から、選びたいものにタッチして選ぶ。 ポップアップリストを閉じるには、トップパネル上の [ENTER] ボタンまたは [EXIT] ボタンを押すか、画面のポップアップリストの外をタップする。
	文字入力画面表示	タップすると、文字入力画面が表示される。
	別の設定画面に移動	タップすると、該当する設定画面が表示される。
	パートを追加	「+」をタップしてパートを追加する。

# 文字入力と数値入力

## 文字入力

文字入力には画面上のキーボードを使います。

パフォーマンスネームやソングネームなど、文字を入力するパラメーターの[T]をタップ、またはカーソルを移動して[ENTER]ボタンを押すと、文字入力画面が表示されます。



1	すべての文字を削除
2	この画面を表示したときの文字列に戻る
3	大文字と小文字の切り替え
4	記号入力キーボードに切り替え
5	カーソル位置にスペースを挿入 ([INC/YES] ボタンと同じ)
6	カーソルを移動
7	一文字削除 ([DEC/NO] ボタンでも同様の操作が可能)
8	文字入力を終了し、画面を閉じる
9	アルファベット入力キーボードに切り替え

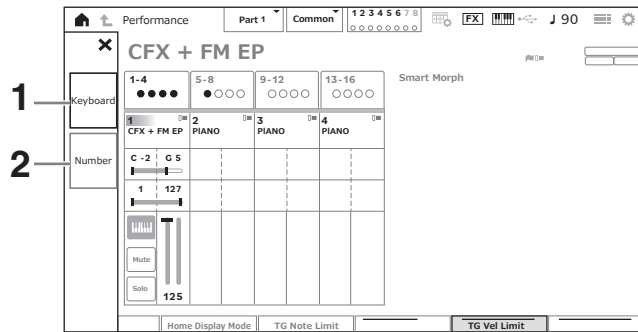
## 数値入力

数値には鍵盤入力かテンキー入力が使えます。

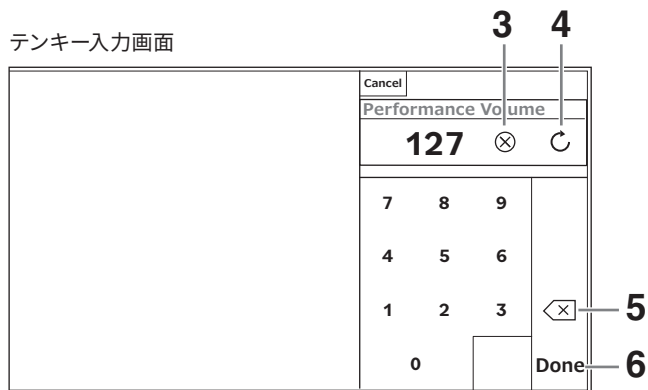
鍵盤入力は鍵を押して数値を入力する方法です。ノート番号やベロシティーを数値で入力するパラメーターを選んだときに使えます。

テンキー入力は画面上的のテンキーを使って数値を入力する方法です。ベロシティーを数値で入力するパラメーターを選んだときに使えます。

対象のパラメーターをタップ、もしくはカーソルを移動して [ENTER] ボタンを押すと、以下のタブが開きます。



<b>1</b>	鍵盤入力が有効になる 押した鍵のノートまたはベロシティーを数値で入力
<b>2</b>	テンキー入力画面が開く 画面上のテンキーで数値を入力するか、データダイアル、[INC/YES] ボタン、[DEC/NO] ボタンで数値を増減する

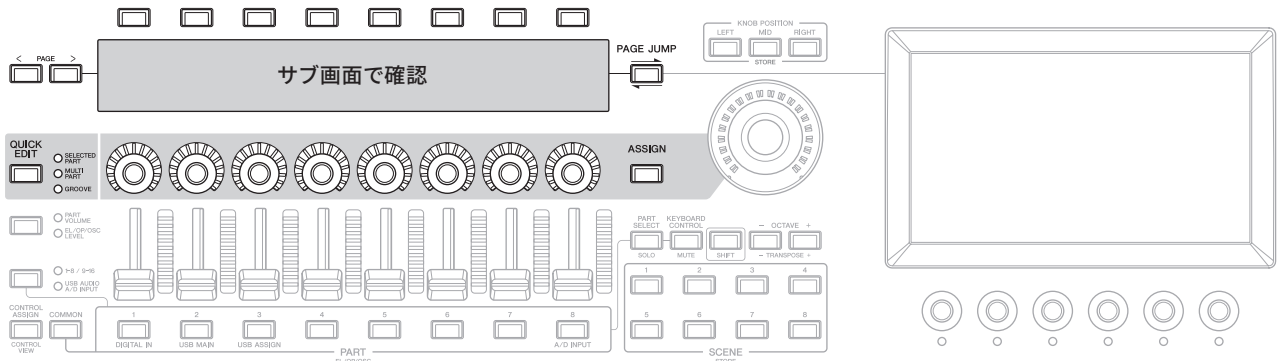


<b>3</b>	すべての数字を削除
<b>4</b>	この画面を表示したときの数値に戻す
<b>5</b>	最下位の数字を削除
<b>6</b>	テンキー入力を終了し、画面を閉じる

## サブ画面

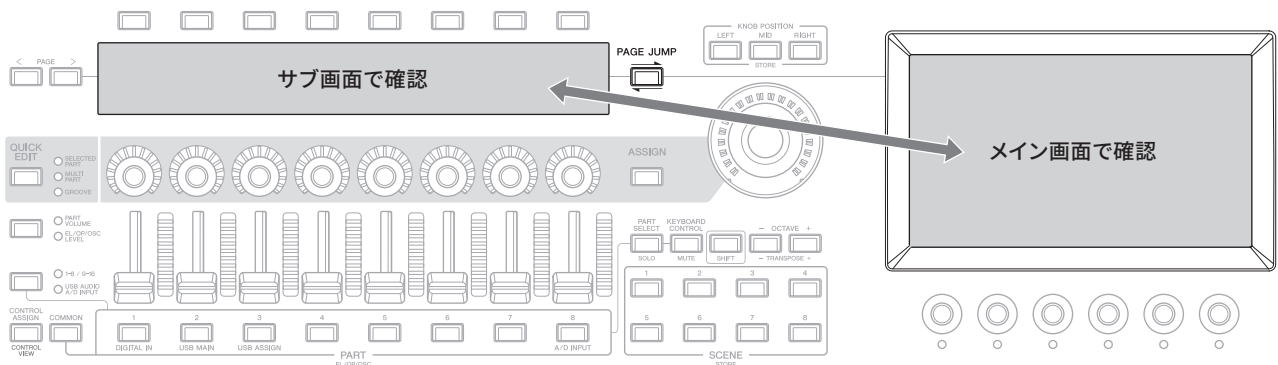
### サブ画面の使いかた

サブ画面の操作には、[QUICK EDIT] ボタン、ノブ 1～8、タブ切り替えボタン、タブ PAGE ボタン、[ASSIGN] ボタンを使います。



### PAGE JUMP 機能の使いかた

サブ画面に表示されているパラメーターの詳細設定を変えたいときは、[PAGE JUMP] ボタンを使ってメイン画面へ移動し、設定を編集できます。[SHIFT] ボタンを押しながら [PAGE JUMP] ボタンを押すと、メイン画面の内容がサブ画面に表示されます。



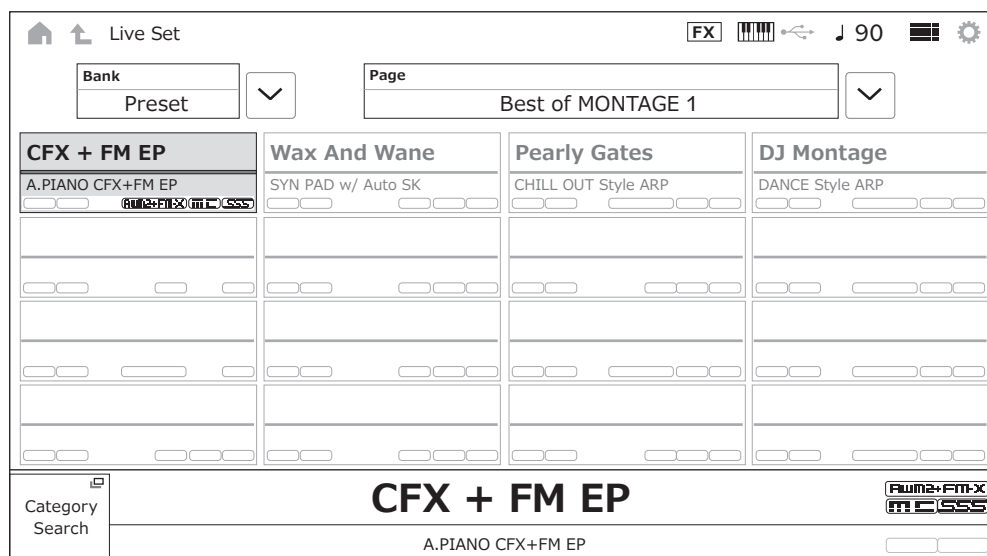
# 演奏する

まずは、ライブセット画面からプリセットのパフォーマンスを選んで演奏してみましょう。

## ライブセット画面でパフォーマンスを選ぶ

### 1. [LIVE SET] ボタンを押します。

ライブセット画面が開きます。



2. 必要に応じて[BANK] ボタンや[PAGE] ボタンで画面を切り替え、表示された中から好きなパフォーマンスにタッチして選びます。

3. 鍵盤で演奏します。

パフォーマンス画面からプリセットのパフォーマンスを選んだり、設定を編集したりする方法については、オペレーションマニュアルをご参照ください。



## 困ったときは

「音が出ない」「音色がおかしい」などといった場合は、オペレーションマニュアルの「困ったときは」をご参照ください。USBフラッシュメモリーに設定などのバックアップ（オペレーションマニュアル参照）をしてから、イニシャライズ オールデータを行うことで解決できることもあります。それでも直らないときは、お買い上げのお店、または巻末の問い合わせ窓口にご連絡ください。

### 工場出荷時の状態に戻す（イニシャライズ オールデータ）

---

#### ご注意

イニシャライズ オールデータを行うと、現在のユーザーメモリーのパフォーマンスやソングなどのデータや、ユーティリティー画面での本機全体の設定内容が、すべて工場出荷時の設定に書き換えられてしまいます。大切なデータを失わないようにご注意ください。また、必要な設定内容は、あらかじめUSBフラッシュメモリーに保存しておくことをおすすめします（オペレーションマニュアル参照）。

#### 1. [UTILITY] → Settings → Systemで設定画面を開きます。

本機全体の設定画面が表示されます。

#### 2. [Initialize All Data]（イニシャライズ オールデータ）をタップします。

確認の画面が表示されます。

中止する場合は、画面上の[Cancel No]ボタンをタップするか、トップパネル上の[DEC/NO]ボタンを押します。

#### 3. 画面上の[Yes]ボタンをタップするか、トップパネル上の[INC/YES]ボタンを押します。

イニシャライズ オールデータを行います。

# 仕様

鍵盤	MONTAGE M8x: 88 鍵 GEX 鍵盤 (イニシャルタッチ/ポリフォニックアフタータッチ付) MONTAGE M7: 76 鍵 FSX 鍵盤 (イニシャルタッチ/アフタータッチ付) MONTAGE M6: 61 鍵 FSX 鍵盤 (イニシャルタッチ/アフタータッチ付)	
音源方式	Motion Control Synthesis Engine AMW2: 最大 128 エLEMENT FM-X: 8 オペレーター、88 アルゴリズム AN-X: 3 オシレーター、1 ノイズ	
ディスプレイ	7 インチ ワイド VGA TFT カラー LCD (タッチパネル付)、512 × 64 フルドット LCD	
接続端子	USB TO DEVICE [1]/[2]、[USB TO HOST]、MIDI [IN]/[OUT]/[THRU]、 FOOT CONTROLLER [1]/[2]、FOOT SWITCH [SUSTAIN]/[ASSIGNABLE]、 OUTPUT (BALANCED) [L/MONO]/[R] (TRS バランス出力端子)、 ASSIGNABLE OUTPUT (BALANCED) [L]/[R] (TRS バランス出力端子)、 [PHONES] (ステレオ標準フォンジャック)、 A/D INPUT [L/MONO]/[R] (標準フォンジャック)	
消費電力	定格電源	AC100 V 50/60 Hz
	消費電力	36 W
寸法・質量	MONTAGE M8x: 1,446 (W) × 460 (D) × 170 (H) mm、28.1 kg MONTAGE M7: 1,244 (W) × 396 (D) × 131 (H) mm、17.6 kg MONTAGE M6: 1,037 (W) × 396 (D) × 131 (H) mm、15.3 kg	
付属品	電源コード、2P-3P 変換器、クイックガイド (本書)、保証書、 Cubase AI Download Information (CUBASE AI ダウンロードについて) Expanded Softsynth Plugin for MONTAGE M Download Information	

その他の仕様については、以下をご参照ください。

[www.yamaha.com/2/montagem](http://www.yamaha.com/2/montagem)

本書は、発行時点での最新仕様で説明しています。

# 索引

使いかたの詳細説明についてはオペレーションマニュアル (HTML) を検索してください。

[https://manual.yamaha.com/mi/synth/montage\\_m/index\\_q.html](https://manual.yamaha.com/mi/synth/montage_m/index_q.html)



<b>A</b>		<b>ノ</b>	
AN-X 音源 .....	9, 36, 37	ノーマルパート (AN-X) .....	10
AWM2 音源 .....	9, 36, 37	ノーマルパート (AWM2) .....	10
<b>F</b>		ノーマルパート (FM-X) .....	10
FM-X 音源 .....	9, 36, 37	<b>ハ</b>	
<b>G</b>		パート .....	10
GEX 鍵盤 .....	25	ハイブリッド音源 .....	9
<b>I</b>		パネルロック機能 .....	32
Init .....	10	パフォーマンス .....	10
<b>M</b>		バンク .....	11
Motion Control Synthesis Engine .....	9	<b>フ</b>	
Multi/GM .....	10	フラグ .....	36
<b>S</b>		プリセットバンク .....	11
Soundmondo .....	10	<b>ホ</b>	
SSS .....	37	ボイス .....	10
<b>ア</b>		<b>マ</b>	
アトリビュート .....	37	マルチパートパフォーマンス .....	10, 37
<b>エ</b>		<b>モ</b>	
エンベロープフォロワー .....	9	モーションコントロール .....	9, 10, 37
<b>オ</b>		モーションシーケンサー .....	9
オートパワーオフ機能 .....	31	<b>ユ</b>	
<b>コ</b>		ユーザーバンク .....	11
工場出荷時の状態 .....	45	<b>ラ</b>	
<b>シ</b>		ライブセット .....	11
シングルパートパフォーマンス .....	10, 37	ライブラリーバンク .....	11
<b>ス</b>			
スーパーノブ .....	9		
スロット .....	11		
<b>ト</b>			
ドラムパート (AWM2) .....	10		

## 製品登録のご案内

このたびはヤマハ製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。

ヤマハミュージックメンバーズでは、Web サイトで所有製品の登録をおすすめしています。ご登録いただくことで、ヤマハミュージックメンバーズ Web サイトやメールニュースでお客様にマッチした製品やキャンペーン、イベントに関する情報をお届けします。

<http://4wrd.it/MEMBER-JP>



本製品の機能や取り扱いについては、最寄りの特約店または下記ヤマハお客様コミュニケーションセンターへお問い合わせください。

**お客様コミュニケーションセンター  
シンセサイザー・デジタル楽器ご相談窓口**



ナビダイヤル(全国共通番号)

**0570-015-808**

ナビダイヤル® ※固定電話は、全国市内通話料金でご利用いただけます。  
通話料金は音声案内で確認できます。

上記番号でつながらない場合は TEL 053-460-1666 へおかけください。

受付：月曜日～金曜日 10:00～17:00

(土曜、日曜、祝日およびセンター指定の休日を除く)

\* 営業日や営業時間を変更させていただく場合がございます。  
あらかじめご了承ください。

<https://jp.yamaha.com/support/contacts/>



付属 DAW ソフトウェアについては、Steinberg 社のホームページをご覧ください。Steinberg 社のホームページでは、製品に関するサポート情報や、最新アップデートのダウンロード、FAQ などを下記 URL にて公開しております。

<https://www.steinberg.net/ja/>

付属 DAW ソフトウェアの [ヘルプ (Help)] メニューから Steinberg 社のホームページにアクセスできます。(ヘルプメニューには、付属 DAW ソフトウェアの PDF マニュアルや追加情報なども掲載されています。)

### ◆ウェブサイトのご案内

・ヤマハ 音楽制作機器ウェブサイト

<https://jp.yamaha.com/mp/>

### ヤマハ株式会社

〒430-8650 静岡県浜松市中央区中沢町 10-1

\* 都合により、住所、電話番号、名称、営業時間などが変更になる場合がございますので、あらかじめご了承ください。

## ソースコード配布について

本製品の最終出荷日から 3 年間は、製品のソースコードのうち GNU General Public License に基づいてライセンス供与された部分については、ソースコードを配布させていただきます。以下の住所にお問い合わせください。

〒430-8650 浜松市中央区中沢町 10-1

ヤマハ (株) 楽器事業本部

電子楽器事業部戦略企画グループ

ソースコードの配布自体は無償ですが、ソースコードの送料につきましてはご負担いただきます。

- ・弊社 (または弊社認定の関係者) 以外の第三者による、この製品のソフトウェアに対する変更や追加、削除などによって発生したいかなる損害に対しても、弊社は一切責任を負いません。
- ・弊社により一般に公開されたソースコードの再利用は保証されておりません。ソースコードに関して弊社は一切責任を負いません。
- ・また、ソースコードは以下の URL でも配布しております。  
<https://download.yamaha.com/sourcecodes/synth/>

# 保証とアフターサービス

サービスのご依頼、お問い合わせは、お買い上げの販売店、またはヤマハ修理ご相談センターへご連絡ください。

## ●保証書

本製品には保証書が付いています。「販売店印・お買い上げ日」が記入されている場合は、記載内容をお確かめのうえ、大切に保管してください。記入されていない場合は、購入を証明する書類（領収書、納品書など）とあわせて、大切に保管してください。

## ●保証期間

保証書をご覧ください。

## ●保証期間中の修理

保証書記載内容に基づいて修理いたします。詳しくは保証書をご覧ください。

## ●保証期間経過後の修理

修理すれば使用できる場合は、ご希望により有料にて修理させていただきます。

有寿命部品については、使用時間や使用環境などにより劣化しやすいため、消耗劣化に応じて部品の交換が必要となります。有寿命部品の交換は、お買い上げの販売店、またはヤマハ修理ご相談センターにご相談ください。

有寿命部品の例  
ボリュームコントロール、スイッチ、ランプ、リレー類、接続端子、鍵盤機構部品、鍵盤接点、ドラムパッドなど

## ●補修用性能部品の最低保有期間

製品の機能を維持するために必要な部品の最低保有期間は、製造終了後8年です。

## ●修理のご依頼

まず本書の「困ったときは」をよくお読みのうえ、もう一度お調べください。


それでも異常があるときは、お買い上げの販売店、またはヤマハ修理ご相談センターへご連絡ください。

## ●製品の状態は詳しく

修理をご依頼いただくときは、製品名、モデル名などとあわせて、故障の状態をできるだけ詳しくお知らせください。

## ●修理に関するお問い合わせ

### ヤマハ修理ご相談センター

 ナビダイヤル(全国共通番号)  
**0570-012-808**

ナビダイヤル® ※固定電話は、全国市内通話料金でご利用いただけます。通話料金は音声案内で確認できます。

上記番号でつながらない場合は TEL 053-460-4830 へおかけください。

受付 月曜日～金曜日 10:00～17:00

(土曜、日曜、祝日およびセンター指定の休日を除く)

FAX 東日本(北海道/東北/関東/甲信越/東海)

03-5762-2125

西日本(北陸/近畿/中国/四国/九州/沖縄)

06-6649-9340

## ●修理品お持込み窓口

受付 月曜日～金曜日 10:00～17:00

(土曜、日曜、祝日およびセンター指定の休日を除く)

\*お電話は、ヤマハ修理ご相談センターでお受けします。

東日本サービスセンター

〒143-0006

東京都大田区平和島2丁目1-1 JMT 京浜E棟 A-5F

FAX 03-5762-2125

西日本サービスセンター

〒556-0011

大阪市浪速区難波中1丁目13-17 ナンバ辻本ビル7F

FAX 06-6649-9340

\*名称、住所、電話番号、営業時間などは変更になる場合があります。

# MEMO

# MEMO

